

2017年11月6日

Nissan Chemical,  
-where unique & solution meet

# 2018年3月期 第2四半期 決算説明会

---

説明者 取締役副社長 宮崎純一



**NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.**

# 2017上実績

(億円)

	2016上			2017上			増減			増減率	2017上予想 (2017/5発表)		
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	計	1Q	2Q	計
売上高	451	394	845	474	436	過去最高 910	+23	+42	+65	+8%	452	425	877
営業利益	95	52	147	100	73	過去最高 173	+5	+21	+26	+17%	81	69	150
営業外損益	-1	-4	-5	9	-4	5	+10	+0	+10	-	5	-4	1
経常利益	94	48	142	109	69	過去最高 178	+15	+21	+36	+25%	86	65	151
特別損益	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0
純利益 (1)	68	38	106	79	53	過去最高 132	+11	+15	+26	+24%	65	50	115
EBITDA (2)	115	73	188	122	98	220	+7	+25	+32	+17%	-	-	199
EPS (円/株)	44.31	24.69	69.00	52.22	35.18	87.40	+7.91	+10.49	+18.40	+27%	-	-	76.36
配当 (円/株)	-	-	24	-	-	32	-	-	+8		-	-	28
配当総額	-	-	37	-	-	48	-	-	+11		-	-	42
売上高営業利益率	21.1%	13.3%	17.4%	21.2%	16.6%	19.0%	+0.1%	+3.3%	+1.6%		17.9%	16.2%	17.1%
ROE	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-
為替レート(円/ドル)	108	102	105	111	111	111					110	110	110
ナフサ(円/kl) (3)	31,600	31,300	31,400	39,100	36,100	37,700					40,700	40,700	40,700
包括利益	49	25	74	95	72	167							

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 実績は財務省貿易統計ベース

# 2017上実績

＜前年比＞	(売上高)	◆増収	+65億円 (+8%)	(増収)	化学、機能性材料、農業化学、卸売
	(営業利益)	◆増益	+26億円 (+17%)	(減収)	医薬
	(経常利益)	◆増益	+36億円 (+25%)	(増益)	機能性材料、農業化学、卸売
	(純利益)	◆増益	+26億円 (+24%)	(減益)	化学、医薬
	(EPS)	◆増加	18.40円 (+27%)		

売上高(3年連続)、営業利益(5年連続)、経常利益、純利益は過去最高を更新

＜2017/5業績予想比＞	(売上高)	◆上ぶれ	+33億円	(上ぶれ)	機能性材料、農業化学、医薬
	(営業利益)	◆上ぶれ	+23億円	(下ぶれ)	化学、卸売
	(経常利益)	◆上ぶれ	+27億円	(上ぶれ)	機能性材料、農業化学、医薬
	(純利益)	◆上ぶれ	+17億円	(下ぶれ)	化学、卸売
	(EPS)	◆上ぶれ	+11.04円		

## ＜株主還元＞

- ◆配当 中間32円、期末34円 (前年比:中間8円増配・期末6円増配、2017/5業績予想比:中間4円増配・期末2円増配)
- ◆自己株式取得 50億円、1.3百万株取得(2017年5月～6月)
- ◆自己株式消却 3百万株消却(2017年5月、8月)

# 2017上実績 営業外損益・特別損益・包括利益 (億円)

	2016上	2017上	増減
<b>営業外収益</b>	8.9	12.6	+3.7
受取利息・配当金	3.0	3.2	+0.2
持分法投資損益	1.5	4.5	+3.0
有価証券売却益	2.2	0.3	-1.9
為替差益	0.0	1.6	+1.6
その他	2.2	3.0	+0.8
<b>営業外費用</b>	14.1	6.9	-7.2
支払利息	0.9	0.7	-0.2
為替差損	6.3	0.0	-6.3
固定資産処分損	2.6	2.2	-0.4
その他	4.3	4.0	-0.3
<b>特別利益</b>	-	-	-
<b>特別損失</b>	-	-	-
<b>包括利益</b>	74.4	167.1	+92.7
純利益	106.0	131.8	+25.8
非支配株主純利益	0.7	1.2	+0.5
その他有価証券評価差額金	-23.2	35.6	+58.8
為替換算調整勘定	-8.7	-1.3	+7.4
その他	-0.4	-0.2	+0.2

# 2017上キャッシュフロー

(億円)

	2016上	2017上
営業キャッシュ・フロー	294	300
税金等調整前純利益	142	178
減価償却費	41	47
法人税等の支払	-49	-37
運転資金増減他	160	112
投資キャッシュ・フロー	-45	-63
設備投資	-53	-64
その他	8	1
財務キャッシュ・フロー	-266	-268
配当	-40	-43
借入金増減	-175	-175
自己株取得	-50	-50
その他	-1	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	-3	1
現金及び現金同等物の増減額	-20	-30
現金及び現金同等物の残高	333	327

# 2017/9末 貸借対照表

(億円)

	2016/9	2017/3 (A)	2017/9 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,204	1,405	1,285	-120
現金預金	333	357	327	-30
売上債権	436	601	504	-97
たな卸資産	368	364	387	+23
その他	67	83	67	-16
固定資産	843	912	980	+68
有形固定資産	486	520	537	+17
無形固定資産	15	16	17	+1
投資有価証券	287	325	375	+50
その他	55	51	51	+0
資産合計	2,047	2,317	2,265	-52

	2016/9	2017/3 (A)	2017/9 (B)	増減 (B) - (A)
負債	497	680	554	-126
買入債務	131	149	162	+13
借入金	155	308	133	-175
その他	211	223	259	+36
純資産	1,550	1,637	1,711	+74
株主資本	1,456	1,513	1,553	+40
その他有価証券 評価差額金	82	101	136	+35
為替換算 調整勘定	-7	2	1	-1
非支配株主持分	15	17	17	+0
退職給付に係る 調整累計額	4	4	4	+0
負債・純資産 合計	2,047	2,317	2,265	-52

- ・自己資本比率 75.0% 69.9% 74.8%
- ・D/Eレシオ (1) -12.2% -3.2% -12.5%
- ・株主資本増減+40 = 純利益132 - 配当その他92

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

# 2017予想

(億円)

	2016実績					2017予想 (2017/11発表)					増減					増減率	2017予想 (2017/5発表)		
	上	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	(3Q)	(4Q)	下	計		計	上	下
売上高	845	376	582	958	1,803	910	413	597	1,010	過去最高 1,920	+65	+37	+15	+52	+117	+6%	877	1,013	1,890
営業利益	147	40	127	167	314	173	44	128	172	過去最高 345	+26	+4	+1	+5	+31	+10%	150	175	325
営業外損益	-5	11	-3	8	3	5	6	5	11	16	+10	-5	+8	+3	+13	-	1	7	8
経常利益	142	51	124	175	317	178	50	133	183	過去最高 361	+36	-1	+9	+8	+44	+14%	151	182	333
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
純利益 (1)	106	36	98	134	240	132	39	99	138	過去最高 270	+26	+3	+1	+4	+30	+12%	115	137	252
EBITDA (2)	188	61	154	215	403	220	-	-	234	454	+32	-	-	+19	+51	+13%	199	237	436
EPS (円/株) (3)	69.00	23.86	64.11	87.97	156.97	87.40	-	-	91.83	179.23	+18.40	-	-	+3.86	+22.26	+14%	76.36	91.18	167.54
配当 (円/株)	24	-	-	28	52	32	-	-	34	66	+8	-	-	+6	+14		28	32	60
配当総額 (3)	37	-	-	42	79	48	-	-	51	99	+11	-	-	+9	+20		42	48	90
売上高営業利益率	17.4%	10.6%	21.9%	17.4%	17.4%	19.0%	10.7%	21.5%	17.1%	18.0%	+1.6%	+0.1%	-0.4%	-0.3%	+0.6%		17.1%	17.3%	17.2%
ROE (3)	-	-	-	-	15.1%	-	-	-	-	15.9%					+0.8%		-	-	15.0%
為替レート(円/ドル)	105	-	-	112		111	-	-	112								110	110	
ナフサ(円/kl)	31,400	-	-	38,200		37,700	-	-	36,500								40,700	40,700	
包括利益	74	63	101	164	238	167													

- (1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す
- (2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費
- (3) 2017予想は、自己株取得(2017年6月取得完了)50億円の影響を含む



# 2017下予想

<前年比> (売上高) ◆増収 +52億円 (+5%)

(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売  
(減収) 医薬

(営業利益) ◆増益 +5億円 (+3%)

(増益) 農業化学、卸売  
(減益) 化学、機能性材料、医薬

(経常利益) ◆増益 +8億円 (+4%)

(純利益) ◆増益 +4億円 (+3%)

(EPS) ◆増加 +3.86円 (+4%)

<2017/5業績予想比> (売上高) ◆下ぶれ -3億円

(上ぶれ) 農業化学  
(予想通り) 化学  
(下ぶれ) 機能性材料、医薬、卸売

(営業利益) ◆下ぶれ -3億円

(上ぶれ) 化学、機能性材料  
(予想通り) 卸売  
(下ぶれ) 農業化学、医薬

(経常利益) ◆上ぶれ +1億円

(純利益) ◆上ぶれ +1億円

(EPS) ◆上ぶれ +0.65円

<株主還元>

◆配当

中間32円、期末34円

(前年比: 中間8円増配・期末6円増配、2017/5業績予想比: 中間4円増配・期末2円増配)

# 2017年間予想

<前年比>	(売上高)	◆増収 +117億円 (+6%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 医薬
	(営業利益)	◆増益 +31億円 (+10%)	(増益) 機能性材料、農業化学、卸売 (減益) 化学、医薬
	(経常利益)	◆増益 +44億円 (+14%)	
	(純利益)	◆増益 +30億円 (+12%)	
	(EPS)	◆増加 +22.26円 (+14%)	
	(ROE)	◆15.9% (+0.8%)	

売上高(3年連続)、営業利益・経常利益(4年連続)、純利益(5年連続)  
過去最高を更新

<2017/5業績予想比>	(売上高)	◆上ぶれ +30億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、医薬 (下ぶれ) 化学、卸売
	(営業利益)	◆上ぶれ +20億円	(上ぶれ) 化学、機能性材料、医薬 (予想通り) 農業化学、卸売
	(経常利益)	◆上ぶれ +28億円	
	(純利益)	◆上ぶれ +18億円	
	(EPS)	◆上ぶれ +11.69円	
	(ROE)	◆15.9% (+0.9%)	

## <株主還元>

- ◆配当 中間32円、期末34円 (前年比:中間8円増配・期末6円増配、2017/5業績予想比:中間4円増配・期末2円増配)
- ◆自己株式取得 50億円、1.3百万株取得(2017年5月~6月)
- ◆自己株式消却 3百万株消却(2017年5月、8月)
- ◆総還元性向目標 70%(上記自己株式取得実績と配当に基づけば55.3%)

# 2017予想 営業外損益・特別損益

(億円)

	2016実績	2017予想 (2017/11発表)	増減	2017予想 (2017/5発表)
営業外収益	22.5	29.0	+6.5	19.4
受取利息・配当金	7.5	8.2	+0.7	6.2
持分法投資損益	7.0	11.7	+4.7	7.6
為替差益	0.0	1.6	+1.6	0.0
その他	8.0	7.5	-0.5	5.6
営業外費用	19.8	13.0	-6.8	11.2
支払利息	1.6	1.3	-0.3	1.3
固定資産処分損	6.0	5.9	-0.1	5.4
為替差損	3.1	0.0	-3.1	0.0
その他	9.1	5.8	-3.3	4.5
特別利益	0.0	0.0	-	0.0
特別損失	0.0	0.0	-	0.0

# 2017キャッシュフロー予想

(億円)

	2016実績	2017予想 (2017/11発表)	2017予想 (2017/5発表)
営業キャッシュ・フロー	325	359	366
税金等調整前当期純利益	317	361	333
減損損失	2	0	0
減価償却費	89	109	111
法人税等の支払	-90	-72	-61
運転資金増減他	7	-39	-17
投資キャッシュ・フロー	-131	-183	-177
設備投資	-124	-173	-171
投資有価証券購入・売却	22	1	0
その他	-29	-11	-6
財務キャッシュ・フロー	-191	-162	-156
配当	-77	-91	-85
借入金増減額	-23	-21	-21
自己株取得	-90	-50	-50
その他	-1	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0	0
現金及び現金同等物の増減額	4	14	33
現金及び現金同等物の残高	357	371	390

# 2017予想 セグメント別売上高(1)

(億円)

	2016実績							2017予想 (2017/11発表)							増減							2017予想 (2017/5発表)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上	下	計
化学	85	80	165	91	92	183	348	88	79	167	92	92	184	351	+3	-1	+2	+1	-0	+1	+3	171	184	355
<sub>  </sub> ファイブ	28	25	53	27	27	54	107	28	25	53	26	25	51	104	-0	-0	-0	-1	-2	-3	-3	53	51	104
<sub>  </sub> 基礎	57	55	112	64	65	129	241	60	54	114	66	67	133	247	+3	-1	+2	+2	+2	+4	+6	118	133	251
機能性	126	129	255	138	135	273	528	141	150	291	146	148	294	585	+15	+21	+36	+8	+13	+21	+57	279	297	576
農業化学	145	95	240	42	238	280	520	146	115	261	70	251	321	582	+1	+20	+21	+28	+13	+41	+62	249	314	563
医薬	22	15	37	24	19	43	80	21	14	35	23	15	38	73	-1	-1	-2	-1	-4	-5	-7	30	39	69
卸売	144	132	276	137	139	276	552	146	145	291	158	154	312	603	+2	+13	+15	+21	+15	+36	+51	295	320	615
その他	40	46	86	58	96	154	240	54	43	97	45	72	117	214	+14	-3	+11	-13	-24	-37	-26	92	125	217
調整額	-111	-103	-214	-114	-137	-251	-465	-122	-110	-232	-121	-135	-256	-488	-11	-7	-18	-7	+2	-5	-23	-239	-266	-505
合計	451	394	845	376	582	958	1,803	474	436	910	413	597	1,010	1,920	+23	+42	+65	+37	+15	+52	+117	877	1,013	1,890

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

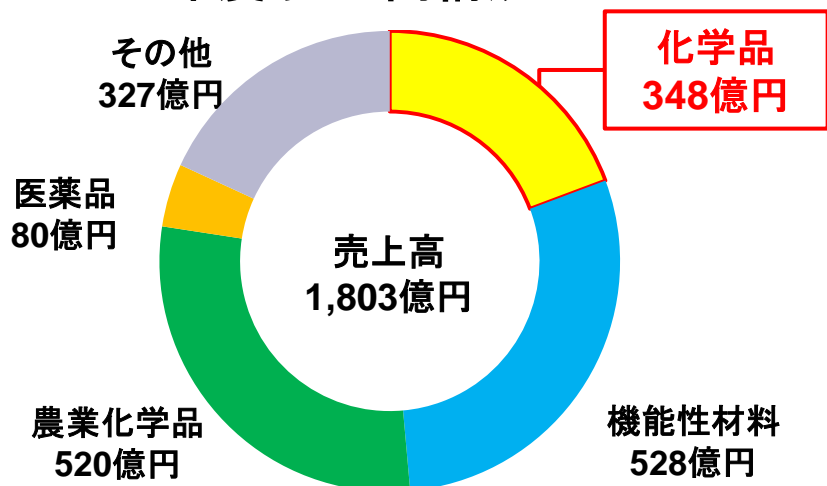
# 2017予想 セグメント別営業利益

(億円)

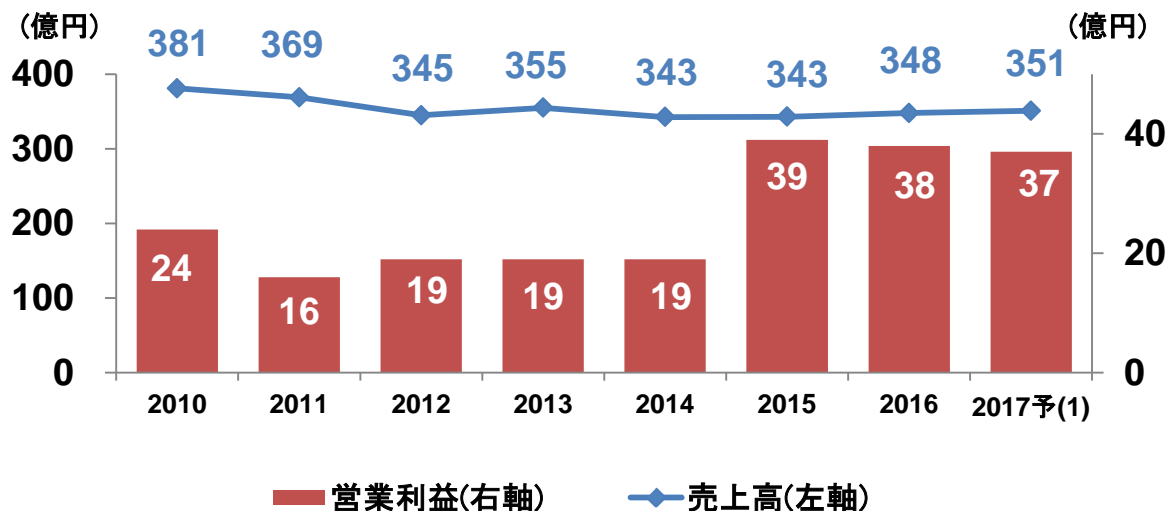
	2016実績							2017予想 (2017/11発表)							増減							2017予想 (2017/5発表)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上	下	計
化学	15	-2	13	13	12	25	38	15	-2	13	12	12	24	37	+0	-0	-0	-1	+0	-1	-1	15	21	36
機能性	30	32	62	38	25	63	125	36	41	77	33	29	62	139	+6	+9	+15	-5	+4	-1	+14	63	60	123
農業化学	45	24	69	-20	83	63	132	45	36	81	-8	83	75	156	+0	+12	+12	+12	-0	+12	+24	76	80	156
医薬	6	0	6	8	3	11	17	5	0	5	5	0	5	10	-1	-0	-1	-3	-3	-6	-7	1	8	9
卸売	4	4	8	5	4	9	17	4	5	9	6	5	11	20	-0	+1	+1	+1	+1	+2	+3	9	11	20
その他	0	0	0	2	8	10	10	1	1	2	0	5	5	7	+1	+1	+2	-2	-3	-5	-3	-1	6	5
調整額	-5	-6	-11	-6	-8	-14	-25	-6	-8	-14	-4	-6	-10	-24	-1	-2	-3	+2	+2	+4	+1	-13	-11	-24
合計	95	52	147	40	127	167	314	100	73	173	44	128	172	345	+5	+21	+26	+4	+1	+5	+31	150	175	325

# 化学品セグメント概況- (A) 業績

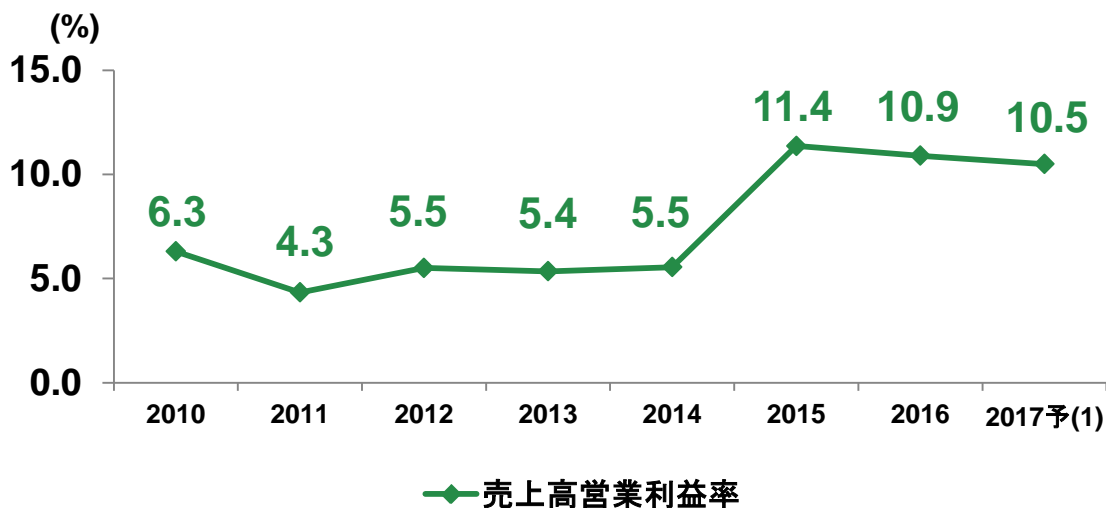
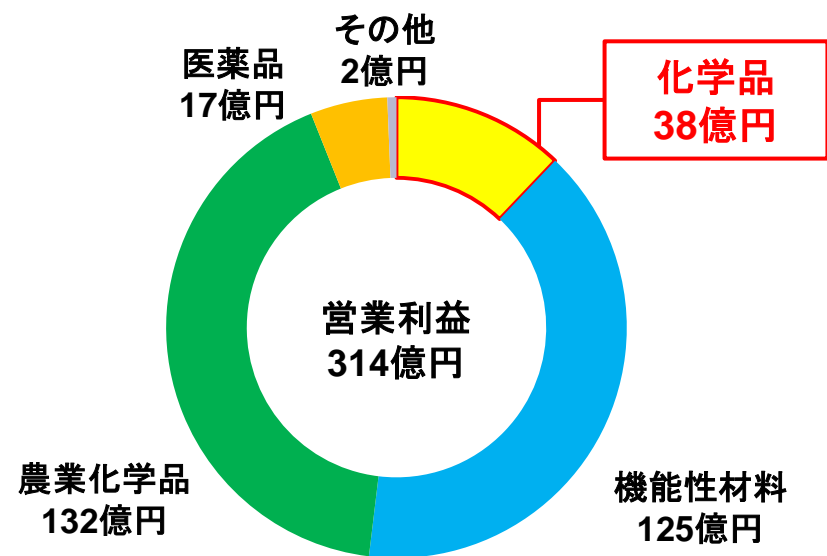
## 1. 2016年度 売上高構成



## 3. 化学品業績推移 (1)2017年11月予想



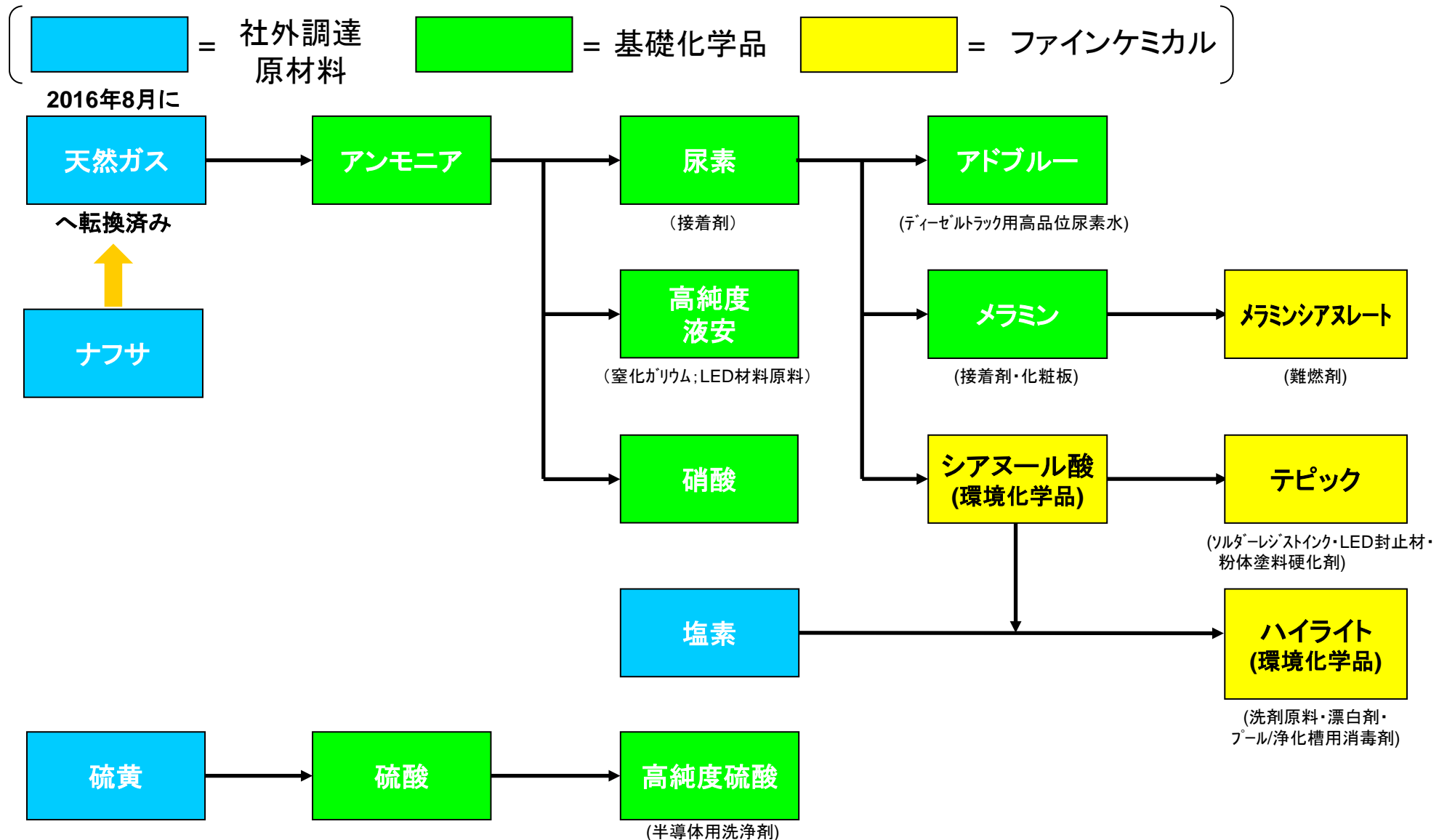
## 2. 2016年度 営業利益構成



# 化学品セグメント概況－(B) 主要製品製造フロー

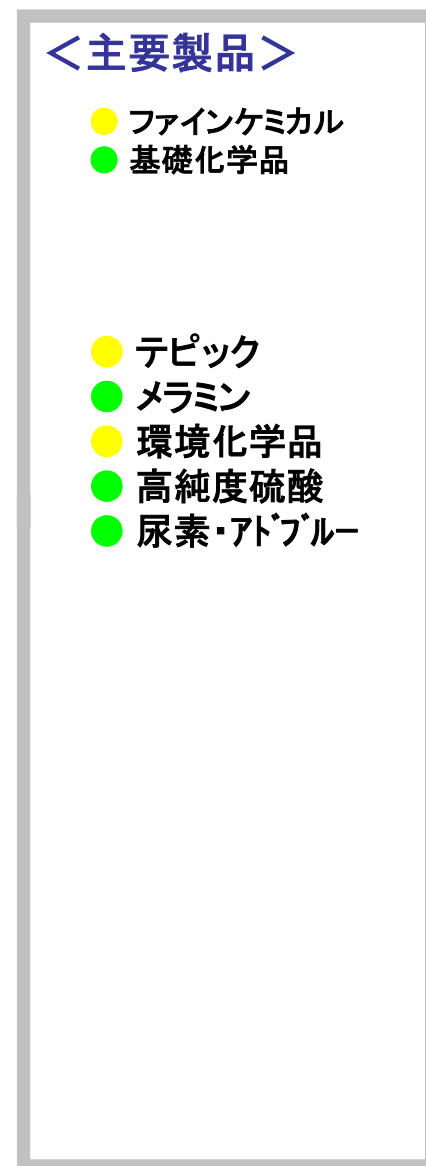
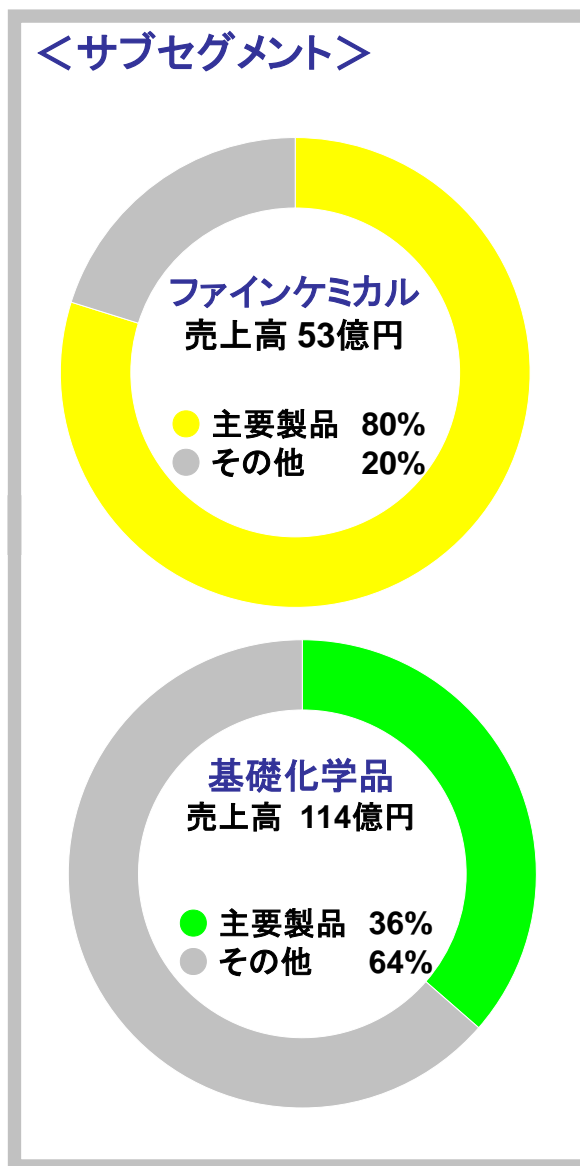
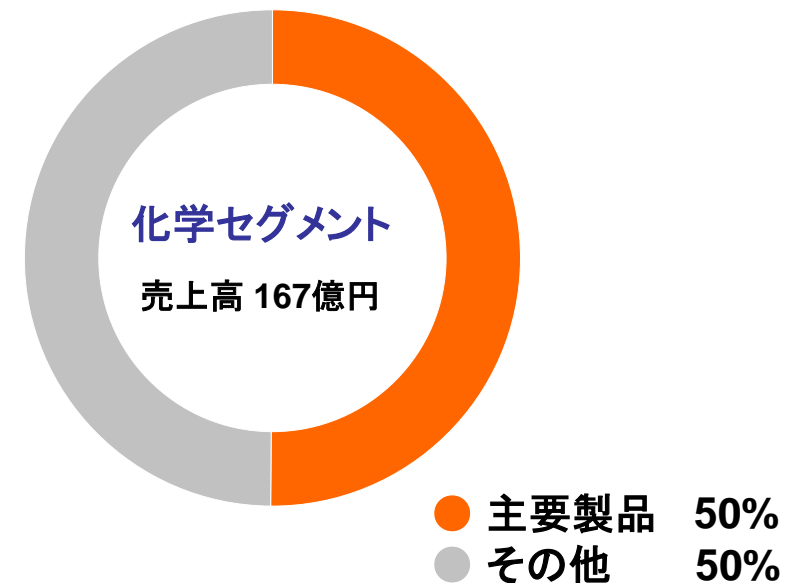
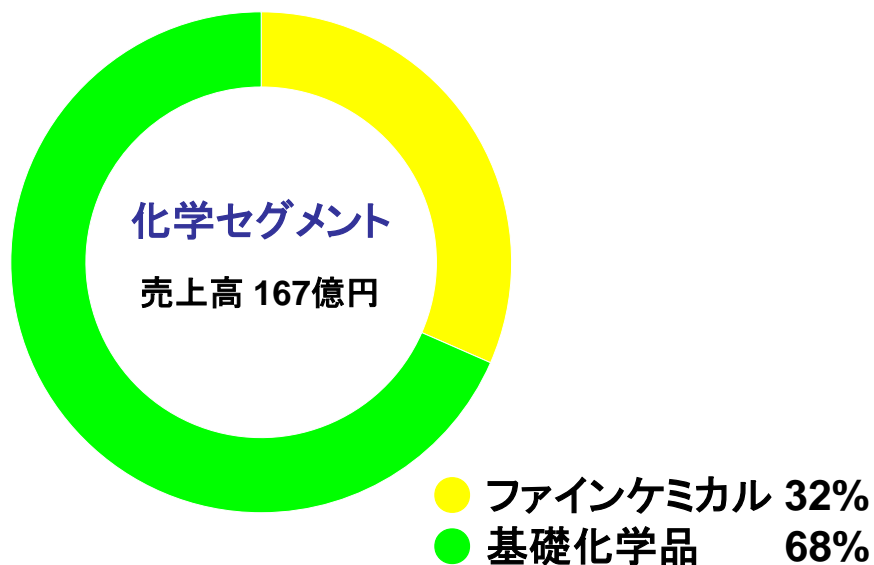
◆基礎化学品主要製品：アンモニア系製品と硫酸系製品

◆2016年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



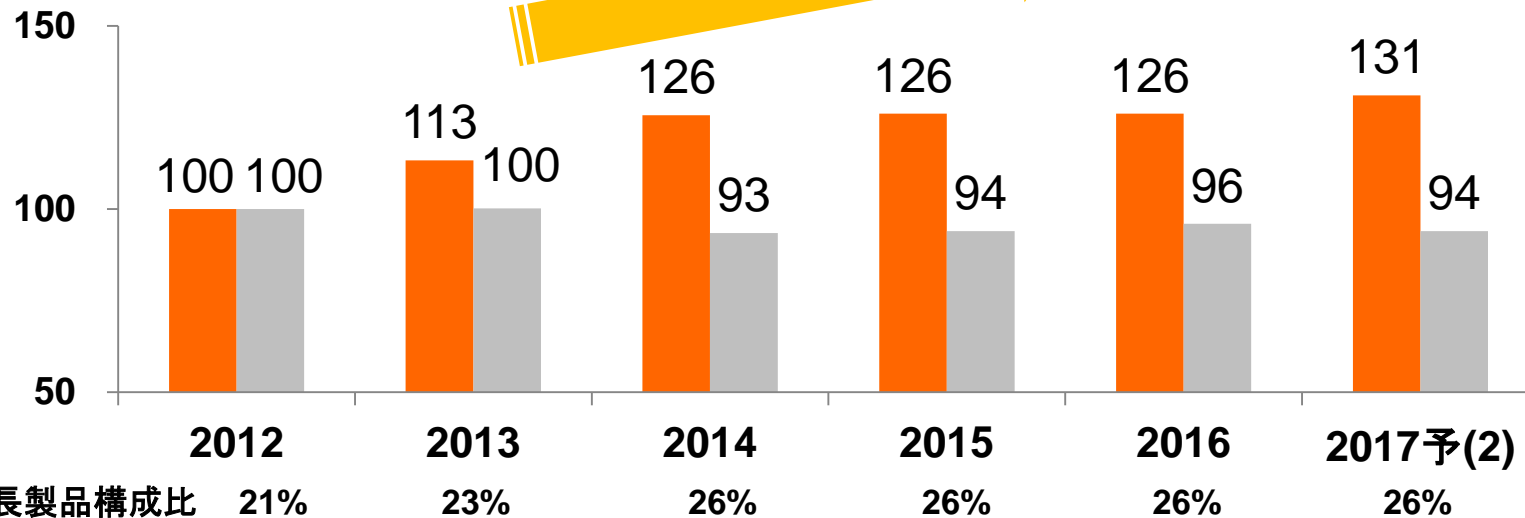


# 化学品セグメント概況 – (C) 2017年度上期売上構成



# 化学品セグメント概況- (D) 成長製品

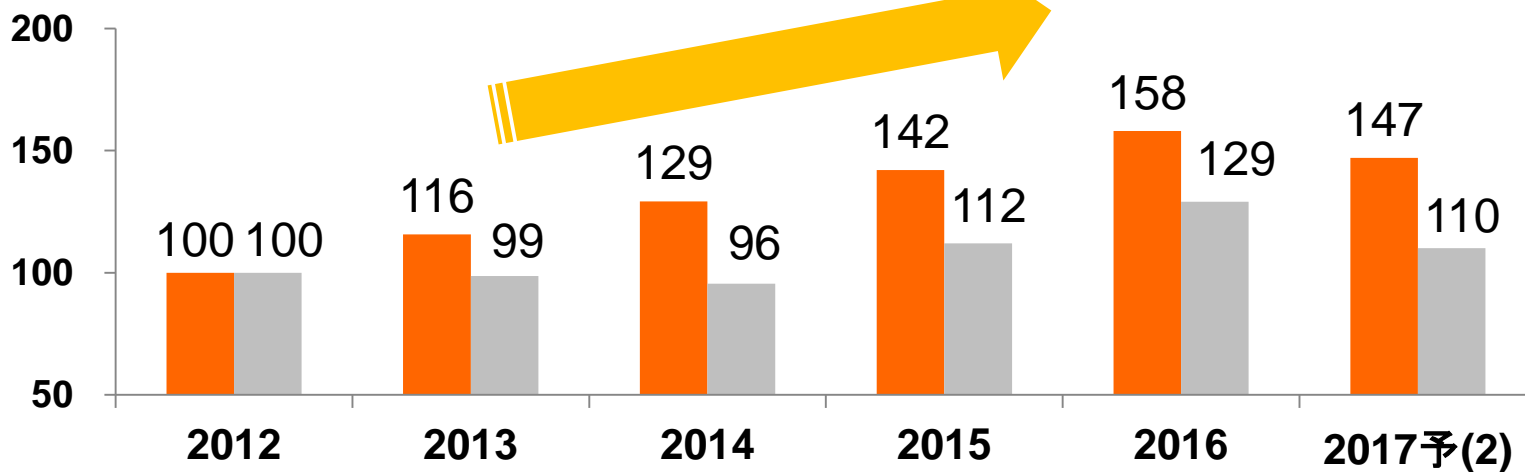
## ◆売上高 (2012年度=100)



- 成長製品
  - テピック
  - ファインオキシ
  - アドブルー
  - 高純度液安
  - メラミンシアヌレート
  - など

- 成熟製品
  - メラミン
  - アンモニア
  - 尿素
  - 硝酸
  - など

## ◆限界利益(1) (2012年度=100)



(1)限界利益: 売上高-変動原価 (2)2017年11月予想

# 化学品セグメント概況－(E-1) 構造改善の現況

## ◆設備能力の推移 (2012年度能力=100)

		2012	2013	2014	2015	2016	2017予	
成長 製品	テピック	100	→			120		} 増強
	アドブルー [製造拠点数(1)]	100 [2]	→		150 [4]	→	160 [5]	
	高純度液安	100	→	250				
成熟 製品	アンモニア	100	→			80		} 削減
	硝酸	100	→	80	→		70	

(1) 製造委託先を含む

## ◆実施済み富山工場アンモニア系コスト削減

工事費： 5.0億円

メリット： 2～3億円/年

工事内容： ユーティリティ効率化、少人化

## ◆アンモニア原料転換プロジェクト

次ページ(E-2)参照

# 化学品セグメント概況－(E-2)アンモニア原料転換プロジェクト

## ◆プロジェクト:

富山工場で生産しているアンモニアの原料をナフサから天然ガスに転換

## ◆目的:

ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニアをはじめ、尿素、メラミン、硝酸など各種誘導品の収益安定化を図る

## ◆工事金額:

10.9億円

## ◆工事完了時期:

2016年8月(予定通り完工済)

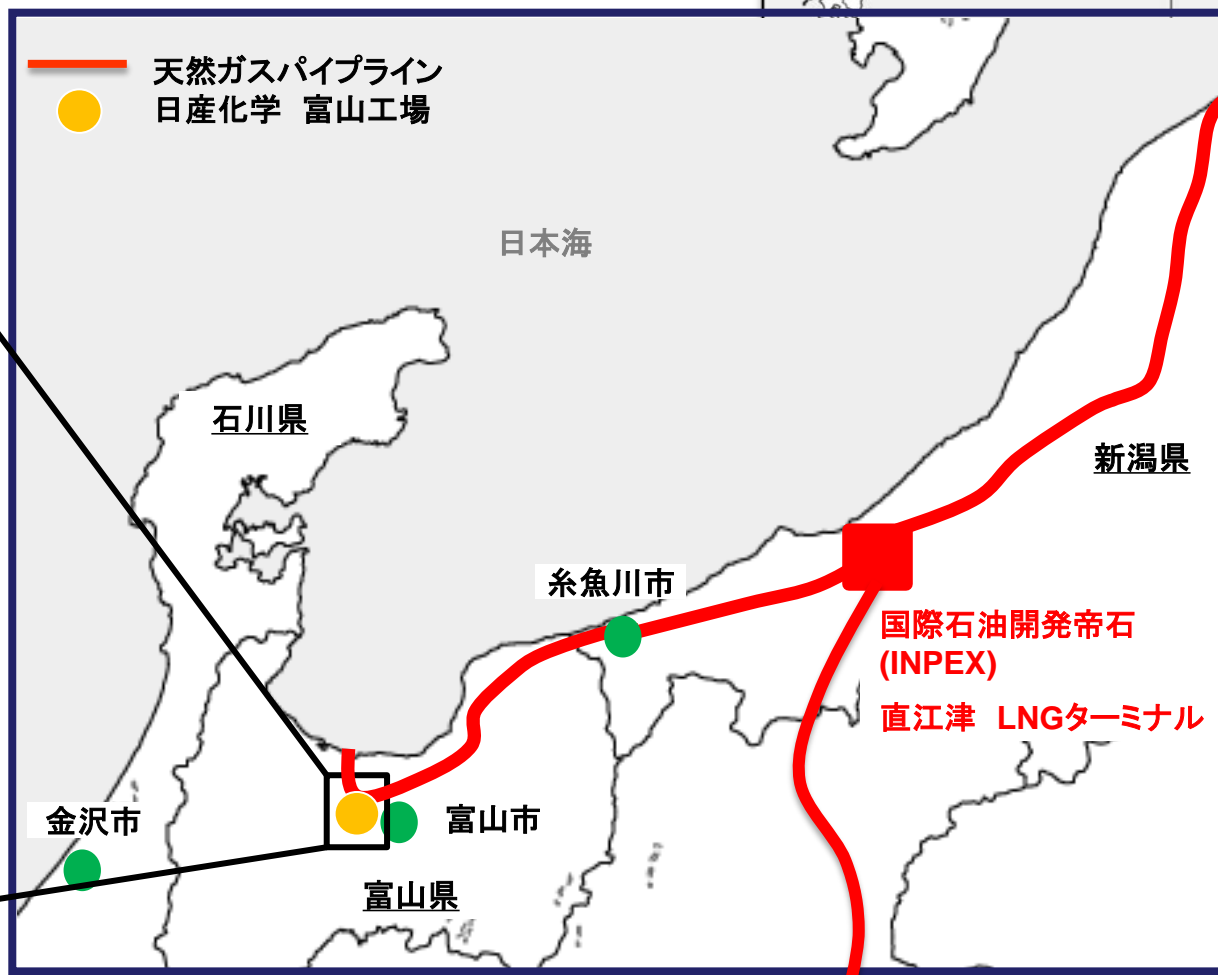
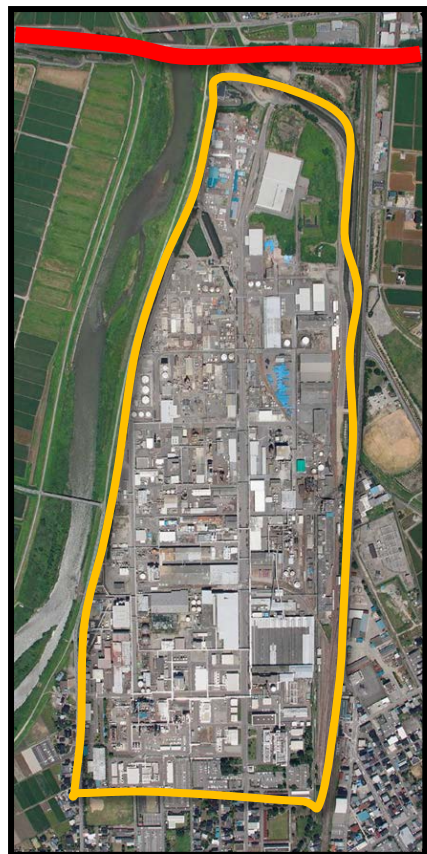
## ◆特別損失の計上:

ナフサのパイプラインは、工事完了後不要となるため撤去することとし、2015年3月期第3四半期において、その概算費用704百万円を特別損失に計上済み

# 化学品セグメント概況-

## (E-3)アンモニア原料転換プロジェクト

— 天然ガスパイプライン  
— 日産化学 富山工場



# 化学品セグメント概況－(F) ファインケミカル

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆テピック
- ◆環境化学品

一般向け輸出増収、電材向け増収  
国内減収(スポット案件なし)、輸出増収

<2017/5業績予想比>

- ◆テピック
- ◆環境化学品

一般向け、電材向け上ぶれ  
国内・輸出下ぶれ

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆テピック
- ◆環境化学品

一般向け輸出減収、電材向け減収  
国内横ばい、輸出増収

<2017/5業績予想比>

- ◆テピック
- ◆環境化学品

一般向け輸出上ぶれ、電材向け予想通り  
国内・輸出上ぶれ

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
全般		-3%	+4%	+0%	-0%	-5%	-3%	-1%	-5%	-3%
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルター・レジストインキ、LED周辺材料) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	-9%	+19%	+5%	+19%	-10%	+2%	+24%	-5%	+8%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	+2%	+8%	+4%	-3%	+2%	-0%	-6%	+5%	-1%

上記2製品グループの2016年度実績連結ファインケミカル売上高に占める割合:75%

# 化学品セグメント概況- (G) 基礎化学品

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆メラミン
- ◆尿素・アドブルー
- ◆高純度硫酸

国内・輸出減収(プラント停止影響 (1))  
尿素減収、アドブルー増収  
増収

<2017/5業績予想比>

- ◆メラミン
- ◆尿素・アドブルー
- ◆高純度硫酸

国内・輸出下ぶれ(プラント停止影響)  
尿素上ぶれ、アドブルー下ぶれ  
上ぶれ

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆メラミン
- ◆尿素・アドブルー
- ◆高純度硫酸

国内・輸出増収  
尿素横ばい、アドブルー増収  
増収

<2017/5業績予想比>

- ◆メラミン
- ◆尿素・アドブルー
- ◆高純度硫酸

国内・輸出下ぶれ  
尿素上ぶれ、アドブルー下ぶれ  
上ぶれ

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
全般		-0%	+3%	+2%	+5%	+3%	+4%	+2%	+3%	+2%
メラミン	◆(用途)接着剤、化粧板	+1%	+11%	+6%	+10%	+8%	+9%	-18%	+7%	-4%
尿素 アドブルー	◆(用途)接着剤、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	+2%	-9%	-4%	+3%	+5%	+4%	+1%	+5%	+3%
高純度 硫酸	◆(用途)半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	-1%	+9%	+4%	+13%	+1%	+7%	+23%	+5%	+14%

上記3製品グループの2016年度実績連結基礎化学品売上高に占める割合:39%

(1) 2017年8月から10月にメラミンプラントがトラブルで断続的に合計37日間停止、10月12日より運転再開

(上期業績影響試算) 売上-6.7億円、営業利益-3.7億円

# 化学セグメント概況 - (H)セグメント収益動向

(億円)

	2016実績(A)							2017予想 (2017/5発表)					2017予想(B) (2017/11発表)					増減 (B)-(A)								
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	85	80	165	91	92	183	348	84	87	171	184	355	88	79	167	92	92	184	351	+3	-1	+2	+1	-0	+1	+3
<sub>  </sub> ファイン	28	25	53	27	27	54	107	26	27	53	51	104	28	25	53	26	25	51	104	-0	-0	-0	-1	-2	-3	-3
<sub>  </sub> 基礎	57	55	112	64	65	129	241	58	60	118	133	251	60	54	114	66	67	133	247	+3	-1	+2	+2	+2	+4	+6
営業利益	15	-2	13	13	12	25	38	14	1	15	21	36	15	-2	13	12	12	24	37	+0	-0	-0	-1	+0	-1	-1

## 2017上実績

### <前年同期比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック増収、環境減収  
◆ 売上高横ばい、営業利益横ばい
- (基礎化学品) ◆ メラミン減収、尿素・アドブルー増収、高純度硫酸増収  
◆ 原燃料高、メラミントラブル、在庫変動(プラス要因)  
◆ 売上高増加、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高+2億円、営業利益横ばい

### <2017/5業績予想比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック売上高上ぶれ、環境売上高下ぶれ  
◆ 固定費上ぶれ  
◆ 売上高予想通り、営業利益下ぶれ
- (基礎化学品) ◆ メラミン売上高下ぶれ、高純度硫酸売上高上ぶれ  
◆ 尿素・アドブルー売上高下ぶれ  
◆ 原燃料安、メラミントラブル、固定費上ぶれ  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-4億円、営業利益-2億円

## 2017下予想

### <前年同期比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック減収、環境増収  
◆ 在庫変動(プラス要因)  
◆ 売上高減少、営業利益横ばい
- (基礎化学品) ◆ メラミン・尿素・アドブルー・高純度硫酸増収  
◆ 原燃料高、固定費増  
◆ 売上高増加、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高+1億円、営業利益-1億円

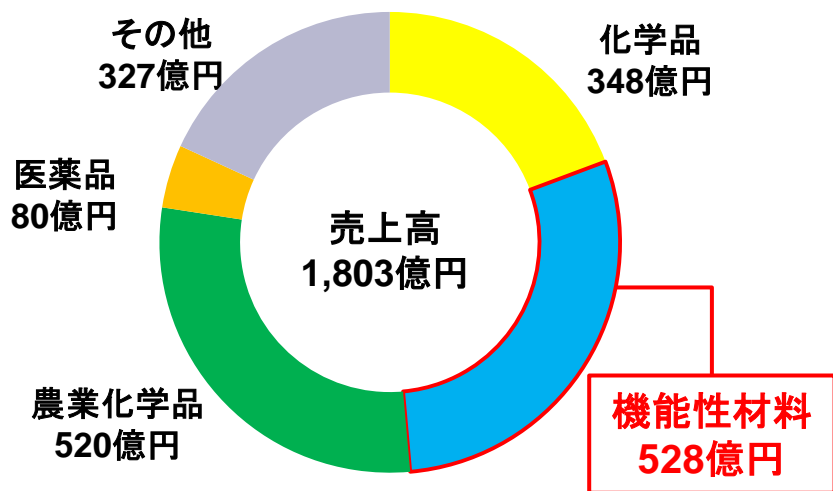
### <2017/5業績予想比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック・環境売上高上ぶれ、その他下ぶれ  
◆ 固定費上ぶれ、在庫変動(マイナス要因)  
◆ 売上高予想通り、営業利益下ぶれ
- (基礎化学品) ◆ メラミン売上高下ぶれ、尿素・アドブルー予想通り、  
高純度硫酸売上高上ぶれ  
◆ 原燃料安、在庫変動(プラス要因)  
◆ 売上高予想通り、営業利益上ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高予想通り、営業利益+3億円

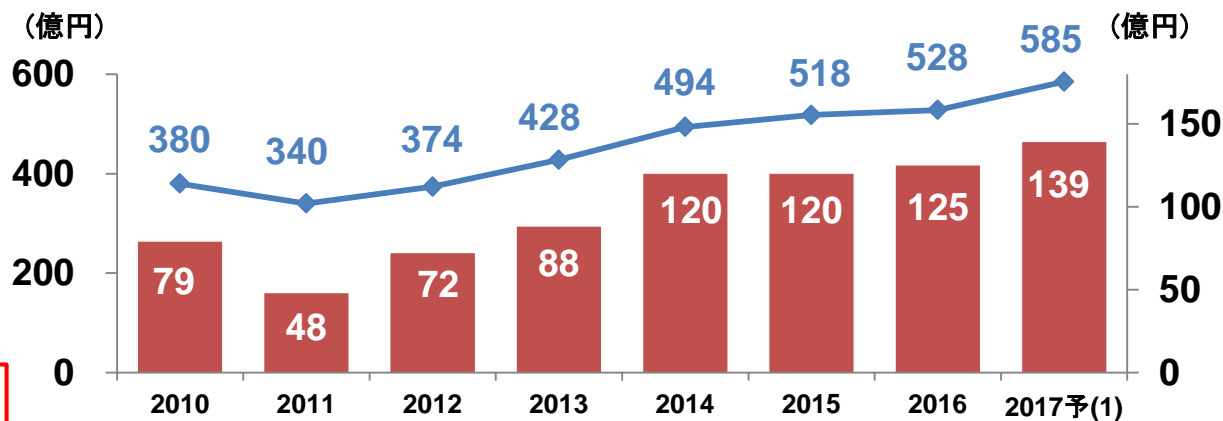


# 機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

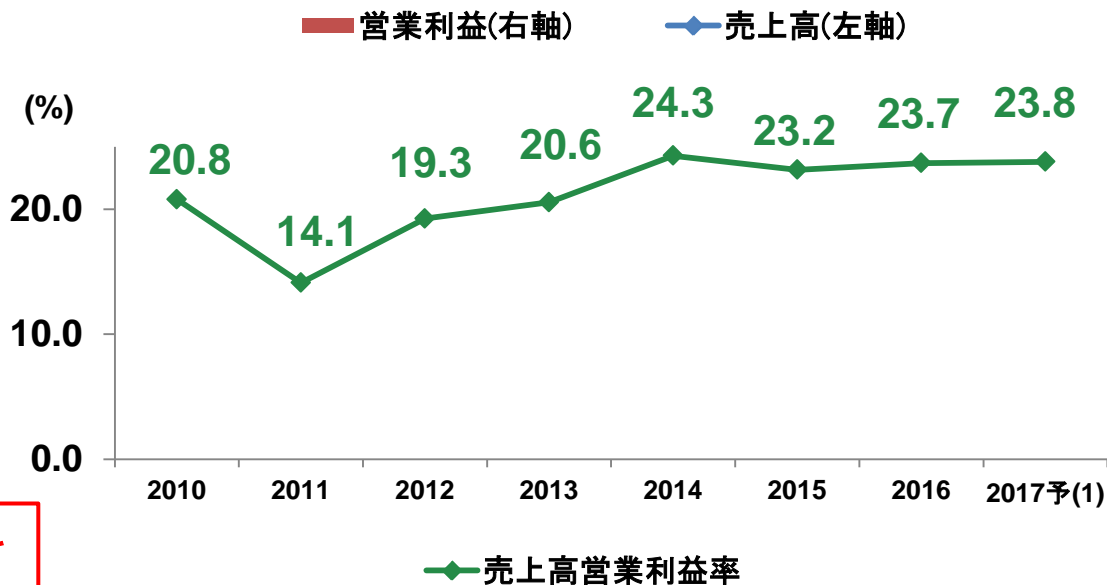
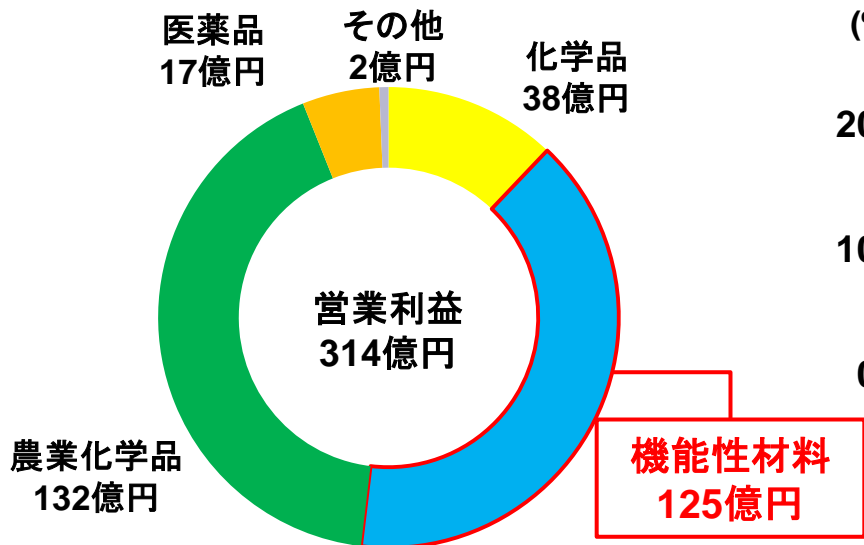
## 1. 2016年度 売上高構成



## 3. 機能性材料業績推移 (1)2017年11月予想



## 2. 2016年度 営業利益構成



# 機能性材料セグメント概況 – (B) ディ스플레이材料

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>  
<2017/5業績予想比>

ディスプレイ材料合計増収+11%  
ディスプレイ材料合計上ぶれ

IPS/FFS・VA増収、TN減収、光IPS販売好調  
IPS/FFS・VA上ぶれ、TN予想通り

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>  
<2017/5業績予想比>

ディスプレイ材料合計増収+9%  
ディスプレイ材料合計下ぶれ

IPS/FFS・VA増収、TN減収、光IPS販売好調  
VA上ぶれ、TN下ぶれ、IPS/FFS予想通り

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
サンエバー	+4%	+7%	+5%	+6%	+9%	+8%	+11%	+9%	+10%
その他ディスプレイ材料 計(1)	-3%	+21%	+9%	+10%	+27%	+20%	+21%	+8%	+14%
ディスプレイ材料合計	+4%	+7%	+5%	+6%	+10%	+8%	+11%	+9%	+10%

(1) NHC(タッチパネル用絶縁膜)、3D TV材料、エルソース(有機EL用塗布型ホール注入材)等

- ◆ 2016年9月 Solvay社と、塗布型有機EL用ホール注入材とホール輸送材の特許およびノウハウ購入契約締結
- ◆ 2017年7月 中国蘇州に現地法人設立(技術支援、顧客サービス強化、製品開発)

# 機能性材料セグメント概況 – (C) 半導体材料

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>  
<2017/5業績予想比>

半導体材料合計増収+20%  
半導体材料合計上ぶれ

KrF・ArF・その他半導体材料増収  
KrF・ArF・その他半導体材料上ぶれ

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>  
<2017/5業績予想比>

半導体材料合計増収+11%  
半導体材料合計上ぶれ

KrF横ばい、ArF・その他半導体材料増収  
KrF・ArF・その他半導体材料上ぶれ

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
KrF (ARC®)		-8%	+10%	+0%	+2%	-4%	-1%	+13%	-1%	+6%
ArF (ARC®)		-1%	+4%	+1%	+16%	+11%	+13%	+22%	+12%	+17%
小計		-3%	+7%	+1%	+10%	+5%	+8%	+16%	+6%	+11%
その他半導体材料 計(1)		-15%	+3%	-6%	+29%	+30%	+29%	+37%	+35%	+36%
半導体材料合計		-6%	+6%	-0%	+14%	+10%	+12%	+20%	+11%	+16%

(1) 多層材料(OptiStack®)、マイクロレンズ\*等

## ◆ 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

主要投資(承認ベース): 14年 評価機器11億円

15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK7億円、半導体材料研5億円

16年 NCK32億円、評価機器10億円、半導体材料研5億円

17年 半導体材料研4億円

# 機能性材料セグメント概況 - (D-1) 無機コロイド材料

## 高機能コロイド製品群

### スノーテックス

コロイダルシリカ  
(水分散シリカゾル)

オルガノゾル・  
モノマーゾル

有機溶媒・モノマー分散  
シリカゾル

アルミナゾル

サンコロイド

高屈折率及び新規製法  
による金属酸化物ゾル

セルナックス

導電性材料・熱線吸収

## < スノーテックスの特徴 >

透明性 親水性 耐熱性  
導電性 高硬度 結合性  
増摩性 結合性 増粘性  
屈折率調整

## < 主な用途 >

磨く

塗布

固める

## < 使用例 >

磨く

シリコンウェハ、  
アルミ/ガラス  
ハードディスク

塗る

鋼板、レンズ、  
プラスチック  
フィルム

固める

脱硝触媒、  
各種バインダー

# 機能性材料セグメント概況 – (D-2) スノーテックス、オルガノゾル・モノマーゾル

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル

研磨材増収、一般用途増収  
増収

<2017/5業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル

研磨材上ぶれ、一般用途上ぶれ  
上ぶれ

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル

研磨材減収、一般用途減収  
増収

<2017/5業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル

研磨材上ぶれ、一般用途下ぶれ  
予想通り

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016実績 (1)			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
スノーテックス	◆(用途) 研磨材(シリコンウェハー・アルミ・ガラスハードディスク)、 脱硝触媒、特殊鋼板等	-4%	+6%	+1%	+3%	-3%	+0%	+7%	-4%	+1%
オルガノゾル・ モノマーゾル	◆(用途) 電子機器用フィルム表面処理、樹脂添加剤	-7%	-3%	-5%	+15%	+5%	+10%	+21%	+5%	+12%

上記2製品グループの2016年度連結無機売上高に占める割合: 82%

無機コロイド材料合計	-4%	+4%	-0%	+10%	+3%	+6%	+15%	+3%	+9%
------------	-----	-----	-----	------	-----	-----	------	-----	-----

(1) 単体ベース

# 機能性材料セグメント概況 – (E) セグメント収益動向

(億円)

	2016実績(A)							2017予想 (2017/5発表)					2017予想(B) (2017/11発表)					増減 (B)-(A)								
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	126	129	255	138	135	273	528	138	141	279	297	576	141	150	291	146	148	294	585	+15	+21	+36	+8	+13	+21	+57
営業利益	30	32	62	38	25	63	125	32	31	63	60	123	36	41	77	33	29	62	139	+6	+9	+15	-5	+4	-1	+14

## 2017上実績

<前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS/FFS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収(KrF・ArF・多層等その他増収)
- ◆ 無機増収(スノーテックス増収、オルガノ・モノマーゾル増収)
- ◆ 固定費増加+13億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+36億円、営業利益+15億円

<2017/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ(IPS/FFS・VA上ぶれ、TN予想通り)
- ◆ 半導体材料売上高上ぶれ(KrF・ArF・多層等その他上ぶれ)
- ◆ 無機売上高上ぶれ  
(スノーテックス上ぶれ、オルガノ・モノマーゾル上ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ4億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+12億円、営業利益+14億円

## 2017下予想

<前年同期比>

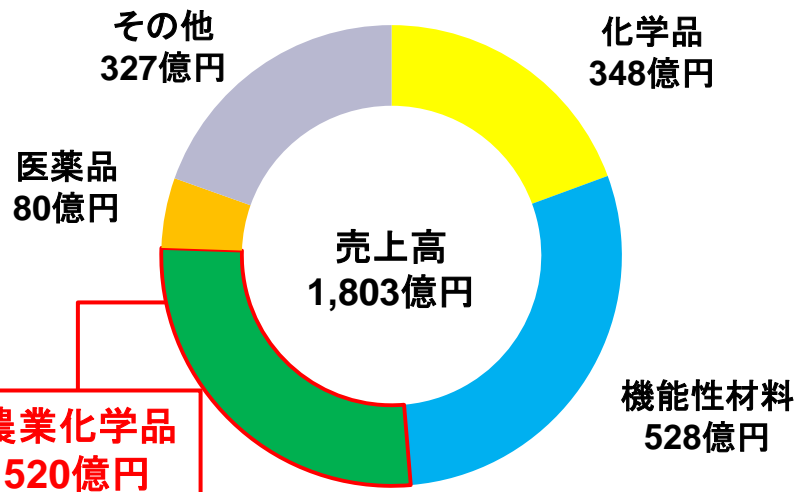
- ◆ サンエバー増収(IPS/FFS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収(KrF横ばい、ArF・多層等その他増収)
- ◆ 無機増収(スノーテックス増収、オルガノ・モノマーゾル増収)
- ◆ 固定費増加+21億円(連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+21億円、営業利益-1億円

<2017/5業績予想比>

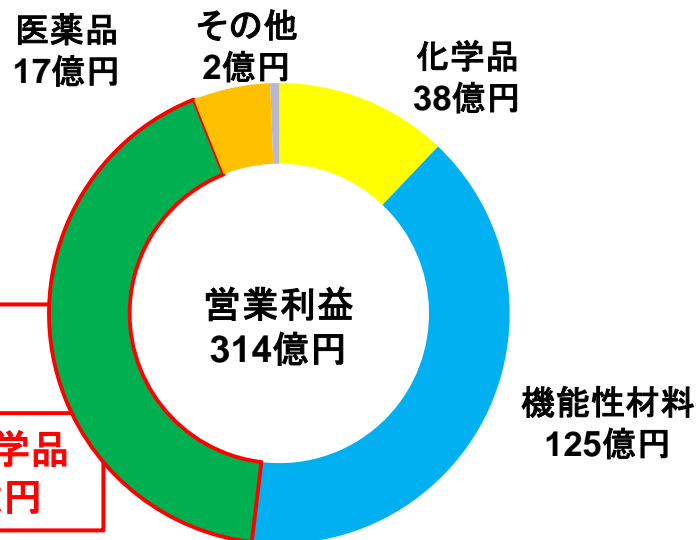
- ◆ サンエバー売上高予想通り(IPS/FFS予想通り、VA上ぶれ、TN下ぶれ)
- ◆ 半導体材料売上高上ぶれ(KrF・ArF・多層等その他上ぶれ)
- ◆ 無機売上高上ぶれ(スノーテックス下ぶれ・オルガノ・モノマーゾル予想通り)
- ◆ 米国現法NCA経由テピック販売廃止による減収-4億円
- ◆ 在庫変動+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-3億円、営業利益+2億円

# 農業化学品セグメント概況- (A) 業績

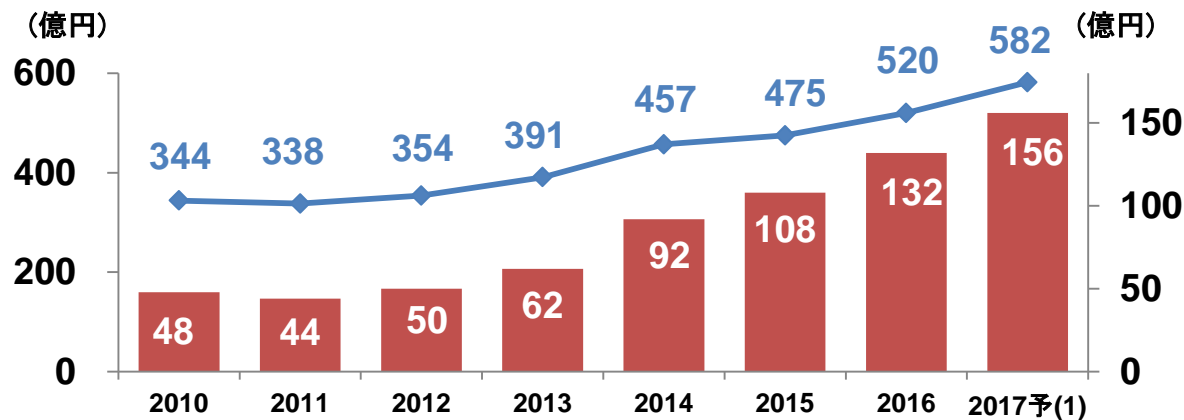
## 1. 2016年度 売上高構成



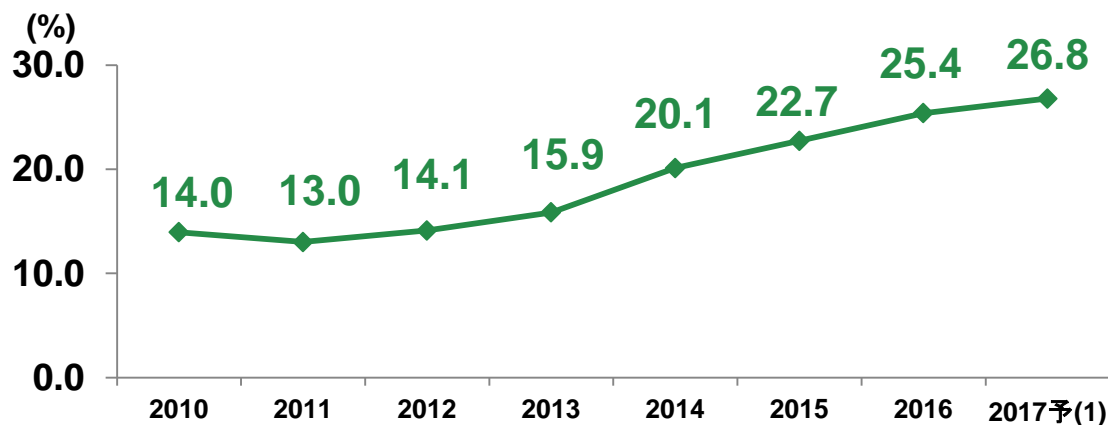
## 2. 2016年度 営業利益構成



## 3. 農業化学品業績推移 (1)2017年11月予想



■ 営業利益(右軸)    ◆ 売上高(左軸)



◆ 売上高営業利益率

# 農業化学品セグメント概況- (B) 売上高増減(値引前)

主要製品名 (2016年 売上高順)	種類	前年同期比 売上高増減		
		2016実績 (単体)	2017予想 (連結2017/5発表)	2017予想 (連結2017/11発表)
ラウンドアップ	除草	↗↗	↘	↗
フルララネル	動物薬	↗↗↗↗	↗↗↗↗	↗↗↗↗
アルテア	除草	↗↗↗	↗	↘
タルガ	除草	↗	↘	↗
パーミット	除草	↘↘↘	↗	↗
シリウス	除草	↘↘	↘	↘
ライメイ (1)	殺菌	↗↗	↗↗	↗↗
スターマイト	殺虫	↘↘	↘	↘
パルサー (チフルザミド)	殺菌	↘↘↘↘	↗↗	↗
サンマイト	殺虫	↘↘	↗↗	↗↗↗↗

2017年度実施の国内販売戦略変更に伴う下期出荷の2018年度への後ろ倒し(一過性)は、ほぼ全製品の国内売上を押し下げ(2017年度下期減収影響 約14億円)(2017/5発表通り)

## 前年同期比売上高増減

+30%~	↗↗↗↗
+20~+30%	↗↗↗
+10~+20%	↗↗
+0~+10%	↗
-0~-10%	↘
-10~-20%	↘↘
-20~-30%	↘↘↘
-30%~	↘↘↘↘

(1) オラクル(根こぶ病・土壌病害用 殺菌剤)を含む



# 農業化学品セグメント概況- (C)

- ◆ 安定的収益源から、アルテア、ラウンドアップ、フルララネルを軸に高成長事業に進化
- ◆ 自社新剤、買収剤、導入剤で戦力増強

(上市時期)	(製品)
2002年度	ラウンドアップ(国内事業をモンサントより買収)
2008年度	ライメイ(殺菌剤、自社)、スターマイト(殺虫剤、自社)
2009年度	パルサー(チフルザミド)(殺菌剤、ダウより買収)、プレバソン(殺虫剤、導入)
2010年度	ラウンドアップAL(一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤)上市、急成長中
2011-12年度	アルテア(除草剤、自社)韓国上市(2011)、日本上市(2012)
2013年度	フルララネル(動物用医薬品原薬)をMSD社*向けに出荷開始
2014年度	ブラベクト(動物用医薬品)をMSD社が欧州(4月)、米国(6月)で上市 エクシレル/プリロツソ(サイアジピル)(殺虫剤、デュポンより導入)上市
2015年度	ブラベクトを(株)インターベット**が日本で上市(7月) トレファノサイド(畑作用除草剤、米ゴーワンがダウより買収、当社は国内販売独占権を継承)
2017年度	イソピラザム(殺菌剤、シンジェンタより導入)上市 イソクラスト(殺虫剤、ダウより導入)上市予定
2019年度	グレーシア(殺虫剤、自社)上市予定
2022年度	汎用性殺菌剤(自社)上市予定

\*MSD社=メルク社(米国)のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health

\*\* (株)インターベット=MSD社の日本法人

- ◆ 2017年3月 フルララネル生産体制強化(外部委託製造所複数化)
- ◆ 2017年4月 生物科学研究所整備計画完了(医薬品と共通、2010-17年で投資額合計64億円)  
主要施設:本館、完全自動化合物ライブラリ、人工気象室、温室、農薬研究棟、栽培管理棟
- ◆ 2017年5月 グレーシア原体製造設備着工(投資額14億円、2018年7月完工予定)
- ◆ 2011年9月 イハラプラス社(ブラジル)に3%資本参加
- ◆ 2014年4月 中国、2016年8月ブラジル、2017年8月インドに現地法人設立(販売、普及、製品開発支援)
- ◆ 2016年度連結実績 輸出比率:32%(アジア25%、欧州・アフリカ64%、北・中南米11%) ※フルララネルを含める

# 農業化学品セグメント概況- (D) フルララネル



## ◆フルララネル(Fluralaner)

BRAVECTO・EXZOLTの有効成分

これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有しており、動物用医薬品原薬として、当社がMSD社に供給する

## ◆ブラベクト(BRAVECTO)

MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れ、さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間(クリイロコイタマダニは8週間)にわたって持続するという優れた特長を有する  
現在85か国以上で発売中

### ●犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月 ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、オランダ、UK

2014年6月 米国

2015年7月 日本

### ●犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

2016年7月 EU(猫)

2016年12月 米国(猫)

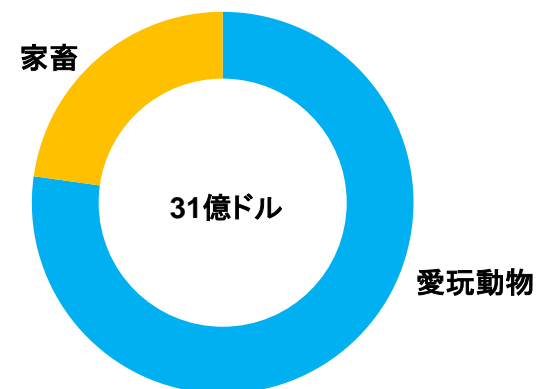
2017年1月 米国・ドイツ・オーストリア(犬)

## ◆EXZOLT

MSD社が開発した鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月 欧州

2015年 世界外部寄生虫薬  
市場規模推定



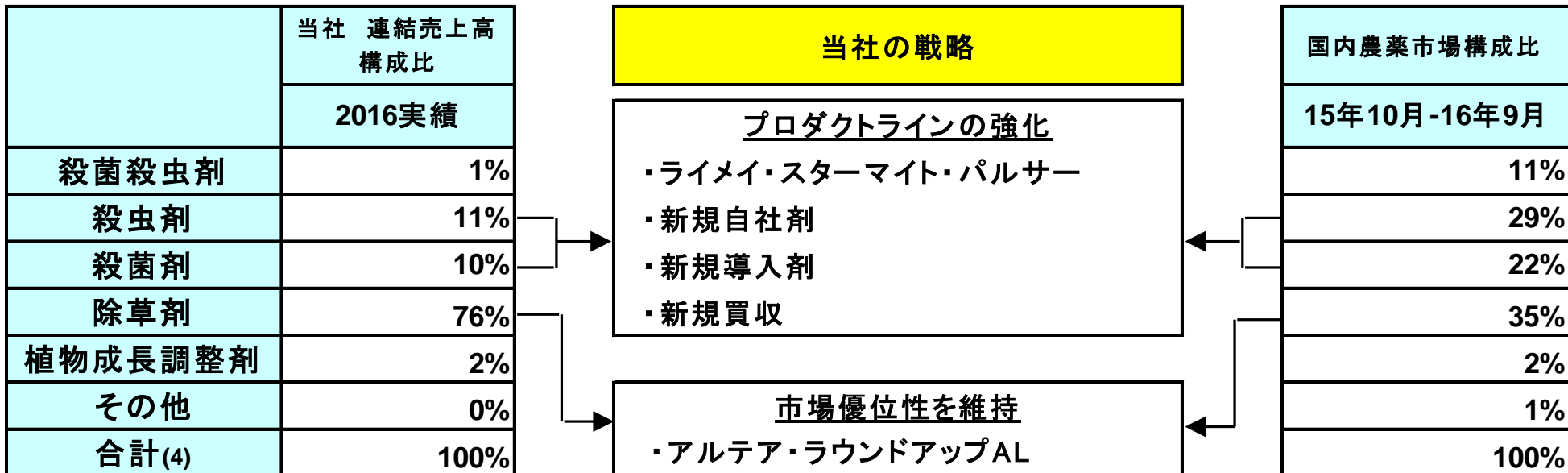
# 農業化学品セグメント概況- (E) 売上高(値引前)

	前年同期比 売上高成長率											
	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
				上	下	計	上	下	計	上実	下	計
ラウンドアップ (うちラウンドアップAL(1))	-0% (+66%)	+17% (+59%)	-0% (+36%)	+20% (+26%)	+6% (+40%)	+13% (+30%)	-1% (+30%)	-7% (-4%)	-4% (+19%)	+8% (+23%)	-6% (+7%)	+1% (+18%)
その他(2)	+14%	+13%	+5%	+12%	+6%	+9%	+5%	+14%	+10%	+9%	+16%	+13%
合計	+11%	+14%	+4%	+14%	+6%	+10%	+3%	+10%	+7%	+9%	+11%	+10%

(1) ALは2016年度ラウンドアップ売上高全体の約15%を占める

(2) フルララネルを含める

(3) 2013-2016実績：単体ベース、2017予想：連結ベース



(4)フルララネルを除く

# 農業化学品セグメント概況 – (F) セグメント収益動向

(億円)

	2016実績(A)							2017予想 (2017/5発表)					2017予想(B) (2017/11発表)							増減 (B)-(A)						
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	145	95	240	42	238	280	520	135	114	249	314	563	146	115	261	70	251	321	582	+1	+20	+21	+28	+13	+41	+62
営業利益	45	24	69	-20	83	63	132	38	38	76	80	156	45	36	81	-8	83	75	156	+0	+12	+12	+12	-0	+12	+24

## 2017上実績

### <前年同期比>

- ◆ 増収:フルララネル、アルテア、ラウンドアップ(ML・AL)、ライメイ(輸出)  
減収:パーミット(輸出)、パルサー(輸出)、シリウス
- ◆ 固定費増加+4億円
- ◆ 売上高+21億円、営業利益+12億円

### <2017/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:フルララネル、アルテア、ラウンドアップ(ML)、タルガ(輸出)、サンマイト(輸出)  
売上高下ぶれ:パルサー(輸出)
- ◆ 売上高+12億円、営業利益+5億円

## 2017下予想

### <前年同期比>

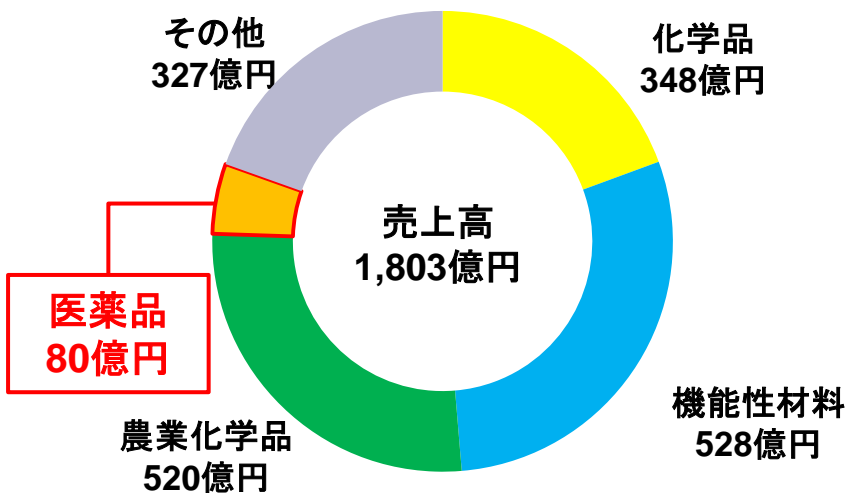
- ◆ 増収:フルララネル、パーミット(輸出)、パルサー(輸出)、タルガ(輸出)、サンマイト(輸出)、ライメイ(輸出)  
減収:ラウンドアップ(ML)、アルテア
- ◆ 固定費増加+5億円、国内販売戦略変更(p32)
- ◆ 在庫変動影響-4億円(費用増)
- ◆ 売上高+41億円、営業利益+12億円

### <2017/5業績予想比>

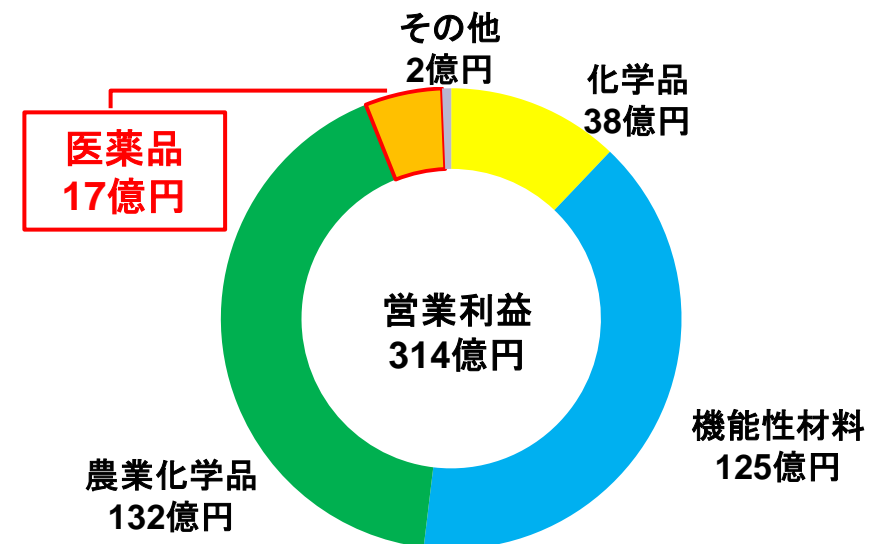
- ◆ 売上高上ぶれ:タルガ、スターマイト(輸出)、ラウンドアップ(AL)、ライメイ(輸出)  
売上高下ぶれ:フルララネル、アルテア、シリウス
- ◆ 固定費上ぶれ+2億円
- ◆ 在庫変動影響-6億円(費用増)
- ◆ 売上高+7億円、営業利益-5億円

# 医薬品セグメント概況 – (A) 業績

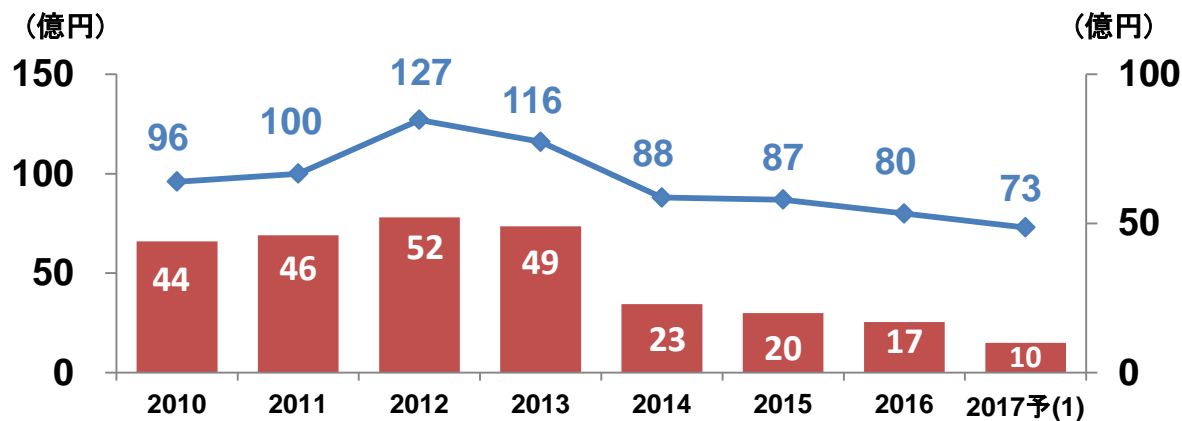
## 1. 2016年度 売上高構成



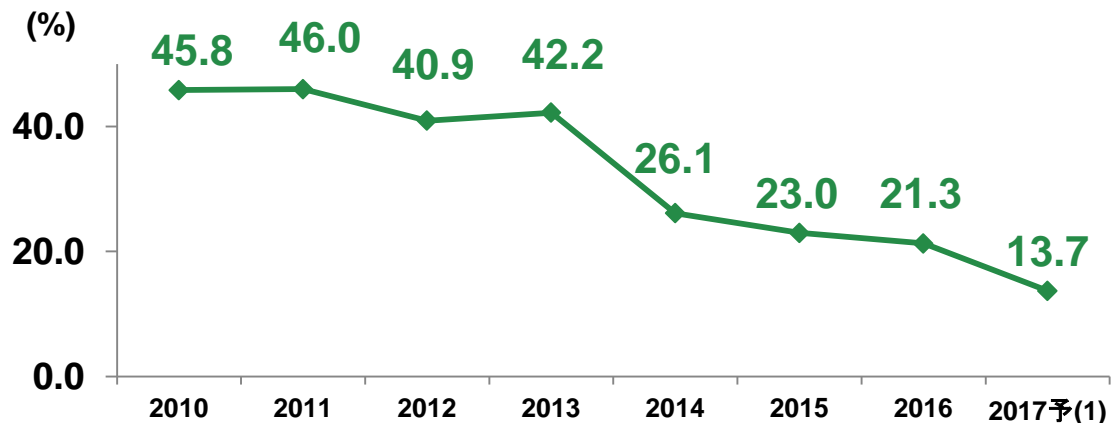
## 2. 2016年度 営業利益構成



## 3. 医薬品業績推移 (1)2017年11月予想



■ 営業利益(右軸)    ◆ 売上高(左軸)



◆ 売上高営業利益率

# 医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデル

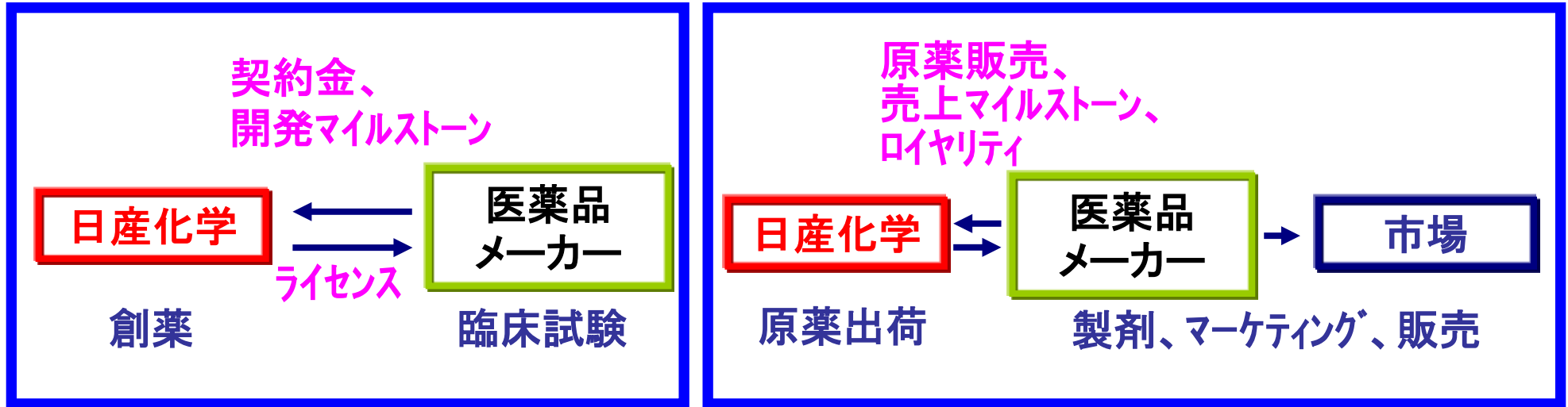
- ◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル

## 医薬新薬事業ビジネスモデル

上市前



上市後



# 医薬品セグメント概況 – (C) リバロ

	2013実績	2014実績	2015実績	2016実績	2017予想 (2017/5発表)	2017予想 (2017/11発表)
国内末端売上高（薬価ベース、億円）	526	345	297	239	-	-
マーケットシェア (1)	21%	16%	15%	13%	-	-
当社原薬売上高（国内外合計、億円）	102	69	58	52	43	46
当社原薬売上高 前年同期比成長率 (うち国内)	-2% (-2%)	-32% (-46%)	-15% (-27%)	-11% (-42%)	-17% (-40%)	-12% (-70%)

(1) 後発品除く

- ◆ 2013年8月 国内物質特許満了
- ◆ 2014年4月 米国で後発品に対する特許権侵害訴訟提起  
(ANDA訴訟: Abbreviated New Drug Application訴訟)
- ◆ 2016年度 国内シェア約13%
- ◆ 2016年度 薬価改定(約-7~-9%)
- ◆ 生物科学研究所整備投資完了(農業化学品と共通)
- ◆ 現在25か国で販売中

## 2016年度 新薬マーケットシェア(1)

クレストール	60%
リピトール	15%
<b>リバロ</b>	<b>13%</b>
メバロチン	7%

# 医薬品セグメント概況 – (D) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NIP-022	・トロンボポエチン(TPO)受容体活性化	・血小板減少症	・小野薬品工業とのライセンス契約終了(2014/4) ・ヤクルト本社とライセンス契約締結(2015/10) ・健常成人に対する国内第I相臨床試験を終了(2017/7)
NT-702	・フォスホジエステラーゼ(PDE)3阻害	・間欠性跛行 ・喘息	・大正製薬とのライセンス契約終了 ・導出先検討中
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈(心房細動など)	・帝人ファーマ、プリストルマイヤース・スクイブとのライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中

◆2016年1月 塩野義製薬と新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結

◆2017年3月 田辺三菱製薬と新規自己免疫疾患治療薬創製を目指した共同研究契約締結

◆2017年4月 塩野義製薬と新規抗疼痛薬創製を目指した共同研究契約締結

◆新規テーマ:

戦略的に構築した化合物ライブラリー、精密有機合成力などの強みを活かし、循環器疾患領域、神経疾患領域での創薬を目指す



# 医薬品セグメント概況 – (E) ファインテック

- ◆ 医薬品開発研究参加型事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造、プロセス研究を受託
- ◆ 2013年 10月 経営資源(合成技術、製造・研究・品質管理体制)の効率的運用とシナジーを狙い、医薬品事業部と統合し、創薬事業と受託事業の二本柱とした
- ◆ 高活性・高付加価値ジェネリック原薬(プロスタグランジンやビタミンD3等)を中心として、新規案件獲得に注力中

## 2017上期売上高実績

<前年同期比>

<2017/5業績予想比>

増収 (一部既存製品出荷量増加、新規開発品受託)

上ぶれ (一部既存製品出荷量上ぶれ、新規開発品受託)

## 2017下期売上高予想

<前年同期比>

<2017/5業績予想比>

増収 (一部既存製品出荷量増加)

下ぶれ (一部既存製品出荷量下ぶれ)

前年同期比 連結売上高成長率								
2016実績			2017予想 (2017/5 発表)			2017予想 (2017/11 発表)		
上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
+10%	+2%	+6%	-10%	+17%	+6%	+9%	+11%	+10%

# 医薬品セグメント概況 – (F) セグメント収益動向

(億円)

	2016実績(A)							2017予想 (2017/5発表)					2017予想(B) (2017/11発表)							増減 (B)-(A)						
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	22	15	37	24	19	43	80	15	15	30	39	69	21	14	35	23	15	38	73	-1	-1	-2	-1	-4	-5	-7
営業利益	6	0	6	8	3	11	17	1	0	1	8	9	5	0	5	5	0	5	10	-1	-0	-1	-3	-3	-6	-7

## 2017上実績

<前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収
- ◆ 固定費減少1億円
- ◆ 売上高-2億円、営業利益-1億円

<2017/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高上ぶれ
- ◆ 売上高+5億円、営業利益+4億円

## 2017下予想

<前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収
- ◆ 新規パイプライン一時金なし(2016年下期あり)
- ◆ 固定費減少2億円
- ◆ 在庫変動影響-2億円(費用増)
- ◆ 売上高-5億円、営業利益-6億円

<2017/5業績予想比>

- ◆ リバロ国内売上高下ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高下ぶれ
- ◆ 在庫変動影響-2億円(費用増)
- ◆ 売上高-1億円、営業利益-3億円

# セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)					減価償却 (2)					研究開発費用					売上高比率
	2013	2014	2015	2016	2017E	2013	2014	2015	2016	2017E	2013	2014	2015	2016	2017E	
化学	12	14	23	20	27	14	14	14	16	18	4	5	5	5	6	1.7%
機能性材料	43	52	54	84	88	32	36	52	48	62	63	67	74	79	84	14.4%
農業化学	13	18	13	24	14	20	18	14	13	14	35	35	39	38	42	7.2%
医薬	6	4	4	9	6	12	9	8	7	7	29	27	24	22	26	35.6%
卸売	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
その他	14	10	8	6	7	6	7	8	4	7	11	16	16	17	16	
合計	88	98	102	143	143	85	85	97	89	109	142	150	158	161	174	
(売上高研究開発費比率)											8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	9.0%	

## (1) 設備投資額

実績 - 検収ベース

予想 - 稼働開始ベース

## (2) 減価償却法

サンエバー・ARC® - 4年定率(初年度50%を償却)

その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(17/9) -①	440
総合職人員(17/9) -②	1,120
①/②	39%

※単体ベース

※概数

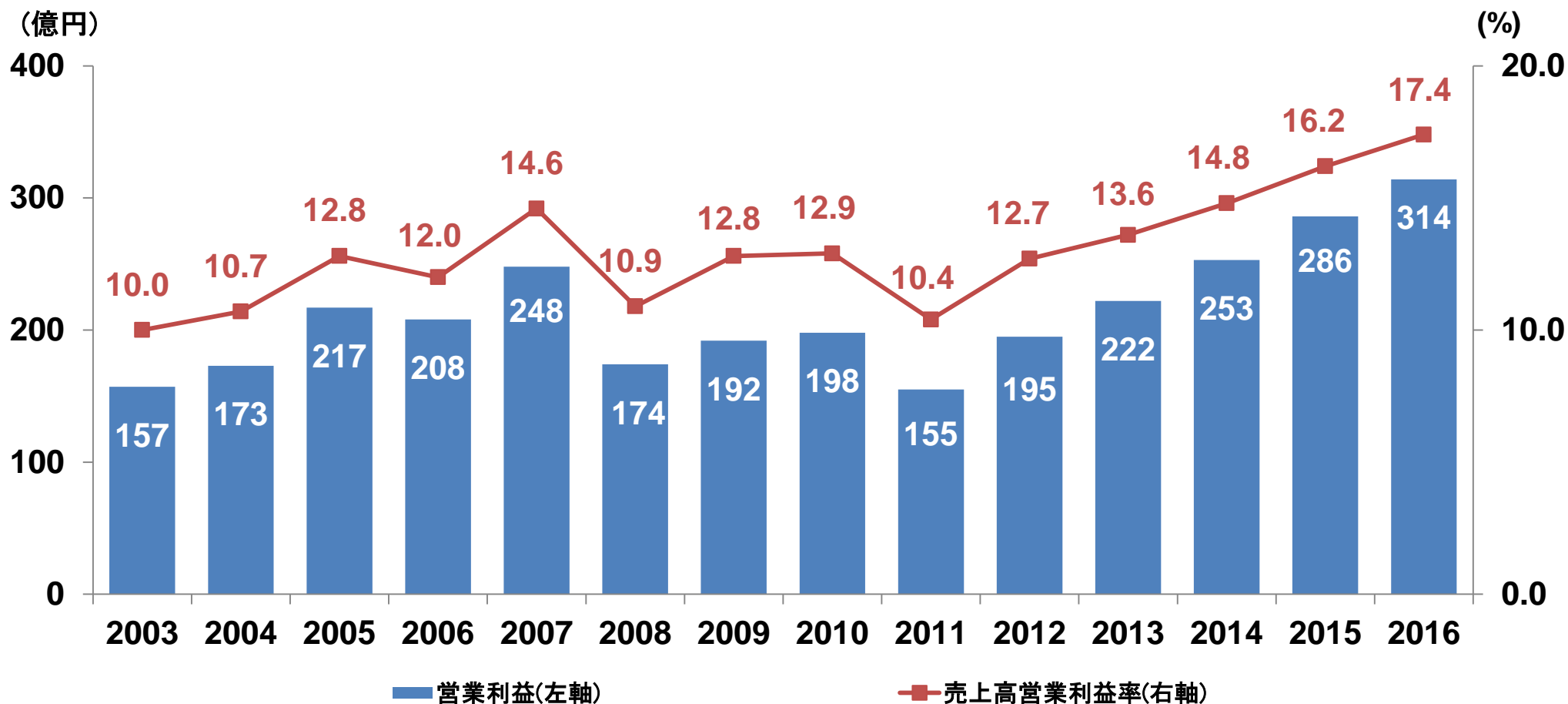
# 主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2014実績		2015実績		2016実績		2017予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
生物科学研第5期(施設)	13	半導体(開発設備新設)	28	NCK 半導体増強	32	農薬(設備新設)	14
半導体(評価機器)	11	材料研(機器)	17	材料研(機器)	13	材料研(機器)	11
アンモニア原料転換	11	農薬(製剤増強)	12	半導体(評価機器)	10	物質研(機器)	6
電材研(機器)	9	サンエバー原料増強	10	物質研(機器)	6	DP(試験製造)	3
無機品質向上工事	7	半導体(評価機器)	8	スノーテックス増強	5	生物科学研(機器)	3
物質科学研(機器)	6	半導体 増強	8	NCK サンエバー増強	3	DP(製造設備)	3
NCK R&Dセンター(機器)	3	NCK 半導体	7	スノーテックス増強	3		
		ファインテック増強	4	NCK R&Dセンター(機器)	2		
		テピック増強	3	生物科学研(機器)	2		
		生物科学研(機器)	2				
		NCK R&Dセンター(機器)	2				

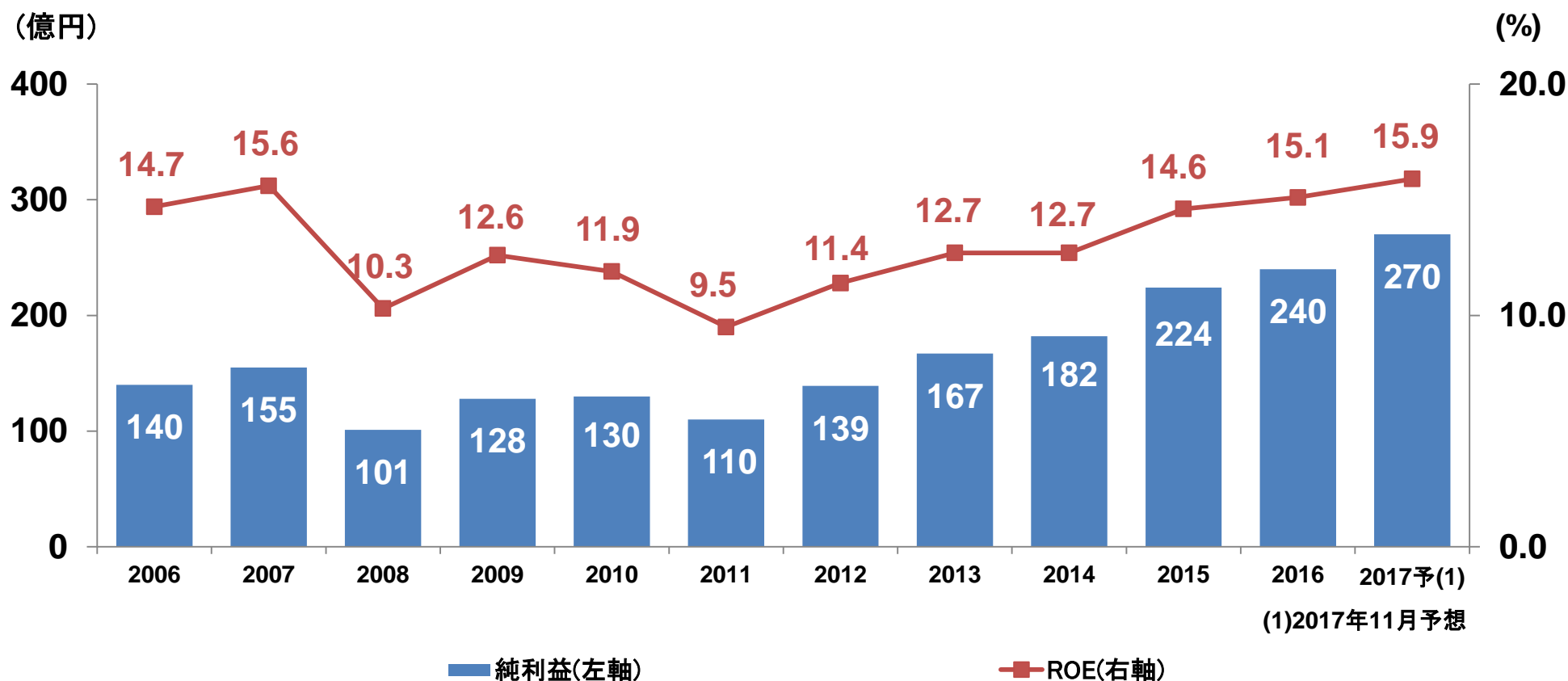
## 当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持  
(2003年度以降14年連続10%以上)



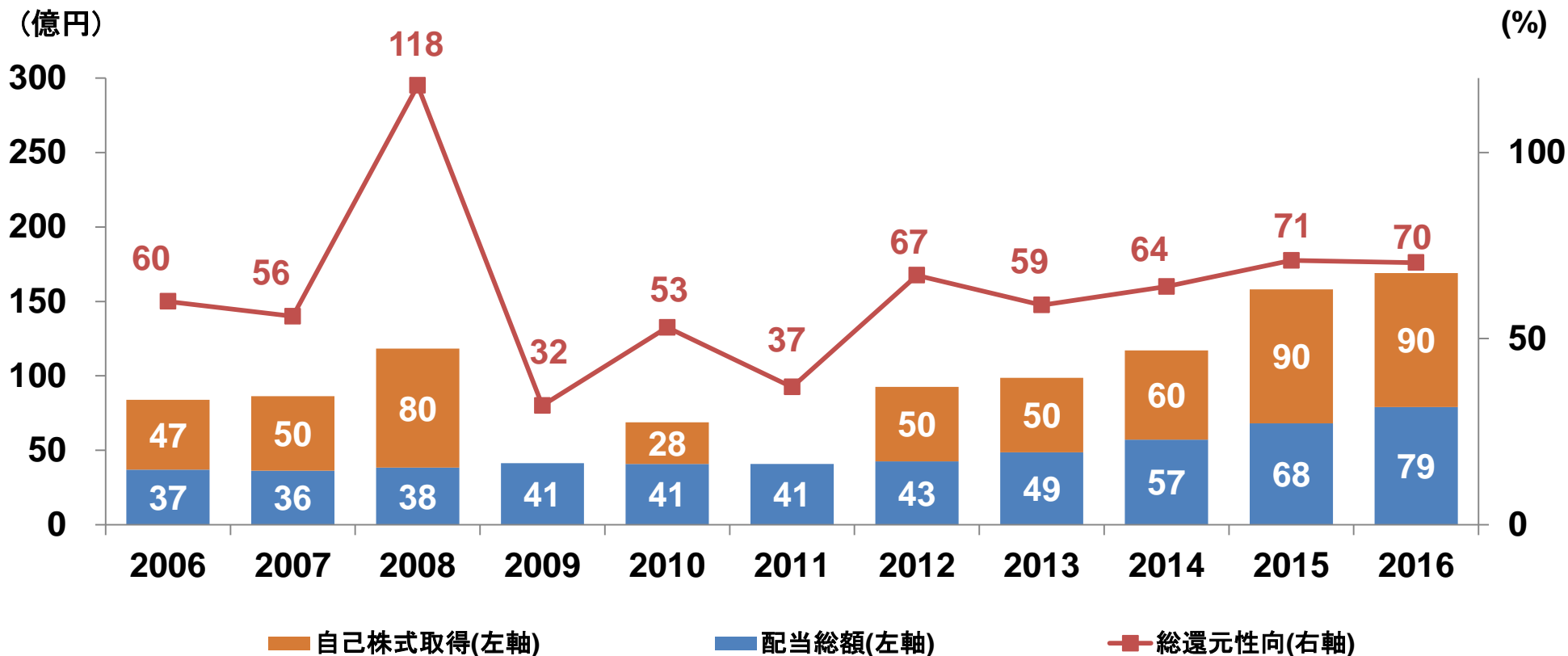
## 当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016年度は達成(15.1%)



## 当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

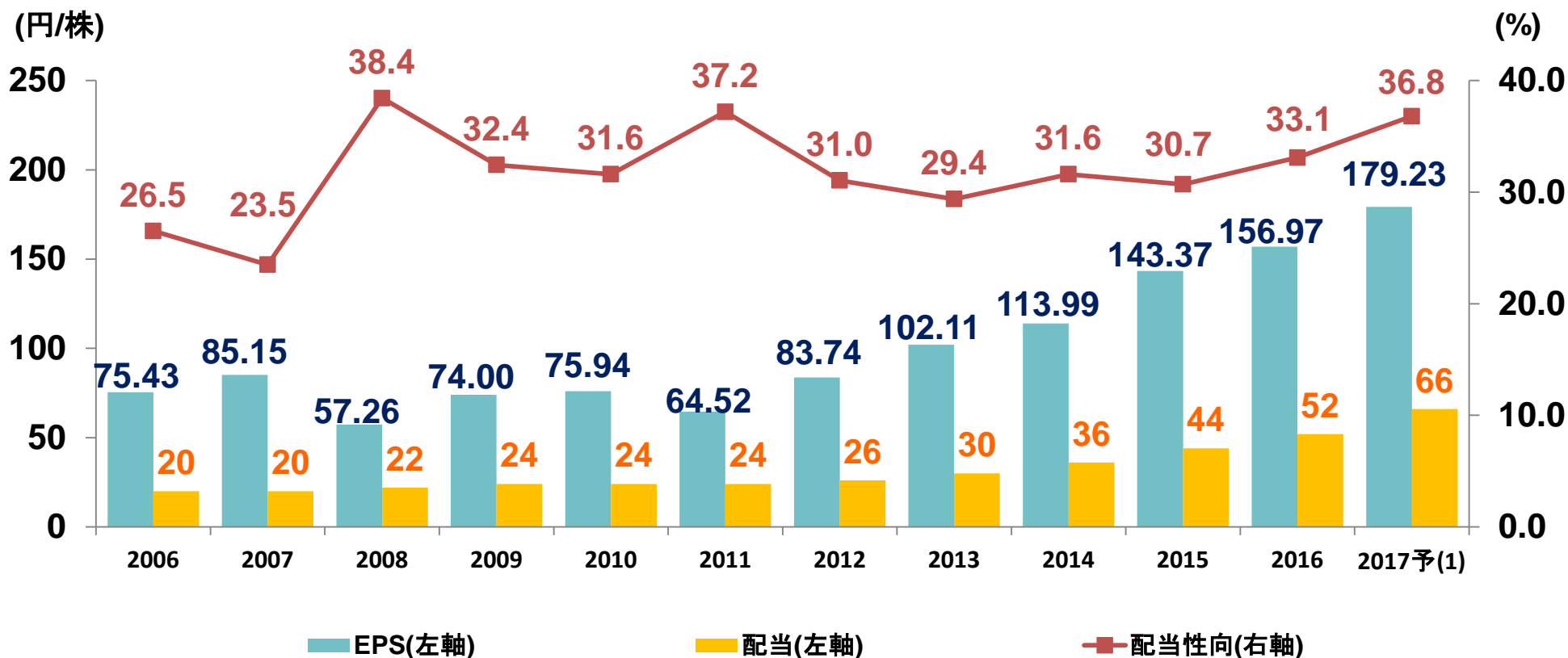
- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016年度は達成(70.4%)



## 当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

◆ 近年は30%を目標として配当してきた

◆ 2015年度30%から段階的に引き上げ、2016年度は33%(実績33.1%)、2018年度以降は40%を目標とする



(1)2017年11月予想



# 当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-16年度取得総額545億円、3,477万株(取得開始前発行済株式の18.5%)
- ◆ 2006-16年度取得株はすべて消却済(5/12時点)

## 2006-16年度 自己株式取得実績

(1) 単位未満株式買取を除く (2) 単位未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	34,774
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	545
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	33,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	

### ◆ 2017年度 取得

取得株数:1,300千株

取得総額:50億円

取得期間:2017年5月15日～6月1日

### ◆ 2017年度 消却

消却時期:2017年5月9日

消却株数:2,000千株

消却時期:2017年8月31日

消却株数:1,000千株

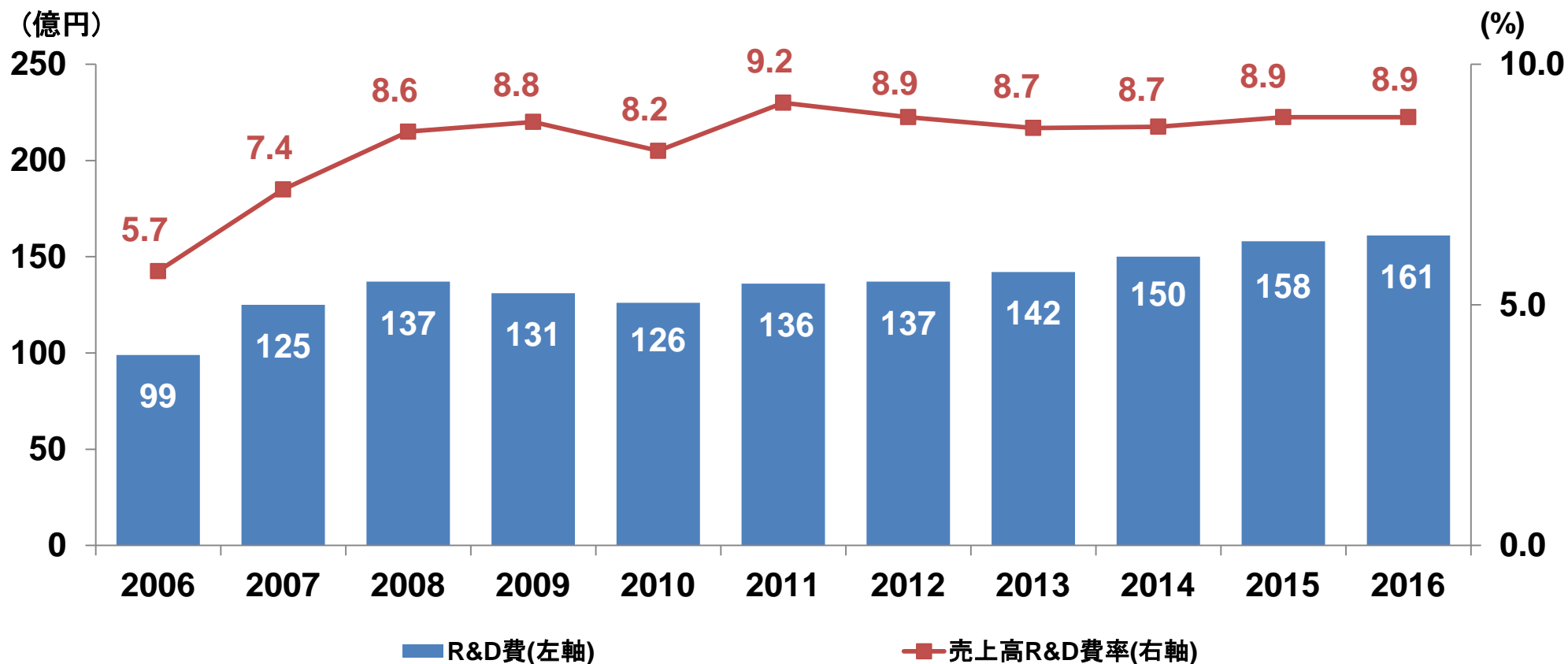
### ◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応[ $1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})$ ]  
+ 偶発リスク対応

## 当社の特徴- (F-1)研究開発

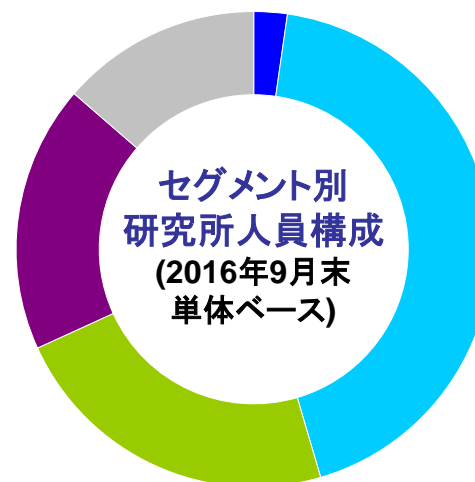
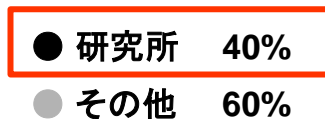
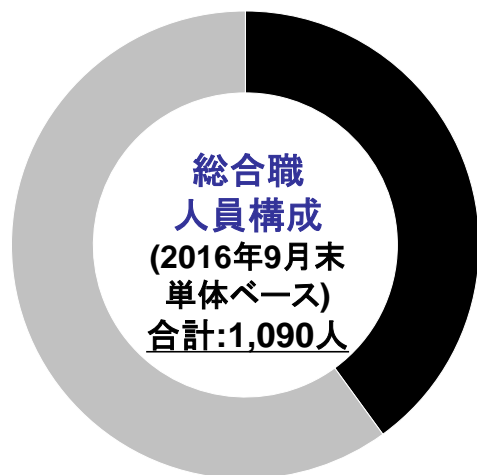
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



# 当社の特徴- (F-2)研究開発

## ◆セグメント別研究開発費

セグメント	主要製品・分野	2016年度実績				
		売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	アンモニア系製品、硫酸系製品 ファインケミカル	348	38	10.9	5	1.4
機能性材料	液晶ディスプレイ用配向膜 半導体反射防止材	528	125	23.7	79	15.0
農業化学品	農薬	520	132	25.4	38	7.3
医薬品	リハロ、ファインテック	80	17	21.3	22	27.5
コーポレート他		-	-	-	17	-
その他共合計		1,803	314	17.4	161	8.9



(白紙)

# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)数値目標 (A)

(億円)

1. PL	実績		中計		
	2015	2016	2016	2018	2021
売上高	1,769	1,803	1,875	2,170	2,500
営業利益	286	314	297	350	400
経常利益	295	317	304	356	408
当期純利益	224	240	230	271	310
売上高営業利益率	16.2%	17.4%	15.8%	16.1%	16.0%
ROE	14.6%	15.1%	14.3%	14%以上	14%以上
配当性向	30.7%	33.1%	33.3%	40%	40%
総還元性向	70.8%	70.4%	70%維持	70%維持	70%維持

(諸元)

為替レート(円/ドル)	上122 / 下118	上105 / 下112	2016年度以降	115
ナフサ(円/kl)	上48,000 / 下 37,700	上31,400 / 下 38,200	35,400	2017年度以降 51,100

## 2. セグメント

(1)

2. セグメント	実績				中計					
	売上高		営業利益		売上高			営業利益		
	2015	2016	2015	2016	2016	2018	2021	2016	2018	2021
化学品	343	348	39	38	354	380	405	49	40	45
機能性材料	518	528	120	125	553	680	829	117	154	184
農業化学品	475	520	108	132	521	586	670	113	129	167
医薬品	87	80	20	17	74	81	83	14	20	24
卸売・その他・調整	346	327	-1	2	373	443	513	4	7	-20
<b>合計</b>	<b>1,769</b>	<b>1,803</b>	<b>286</b>	<b>314</b>	<b>1,875</b>	<b>2,170</b>	<b>2,500</b>	<b>297</b>	<b>350</b>	<b>400</b>

(億円)

(1) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)

## ターゲットとする経営指標 (B)

- ◆ 売上高営業利益率
  - － 15%以上維持
- ◆ ROEを継続して最重視
  - － 14%以上維持
- ◆ 配当性向
  - － 現状実績30%から段階的に引き上げ、2018年度以降40%
- ◆ 総還元性向
  - － 70%維持(新規に目標設定)
- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
  - － 売上高研究開発費比率 8%以上

# 新中期経営計画 Vista2021 Stage I (FY2016-2018)

## Stage I における成長の源泉 (C)

売上高増加額は、新中計策定時点での予想

売上高増加額 (2018年度 vs 2015年度)		10億円未満	10億円以上30億円未満	30億円以上
機能性材料	化学品	アドブルー      高純度アンモニア	テピック	
	ディスプレイ		VA	光IPS
	半導体	3次元実装材料(TMAT), 新規リソグラフィ材料	半導体反射防止コーティング材 (ARC®) 半導体多層材料	
	無機		オイル&ガス材料	
	新材料	有機EL関連材料      イメージセンサー向け材料 調光フィルム材料      ハイパーテック		
	農業化学品	新規殺虫剤(自社)      新規導入品	ラウンドアップ      アルテア	フルララネル      海外
	医薬品	リバロ(海外)      ファインテック 新剤導出・パイプライン充実		
	新製品	その他新製品		

# 新中期経営計画 Vista2021 Stage I (FY2016-2018)

## Stage II 以降に向けた取り組み (D)

情報通信

新製品の開発:

- ・耐熱レンズ
- ・調光フィルム
- ・光配線材料

次世代ディスプレイ材料の創出

次世代半導体材料の創出

ライフサイエンス

新剤の開発:

- ・殺虫剤NC-515
- ・新規殺菌剤
- ・新規水稻用除草剤

血小板増加薬NIP-022の開発

抗真菌薬の共同研究推進

細胞培養材料のグローバルスタンダード化

環境エネルギー

新製品の開発:

- ・2次電池および燃料電池材料

環境発電材料の創出

研究開発

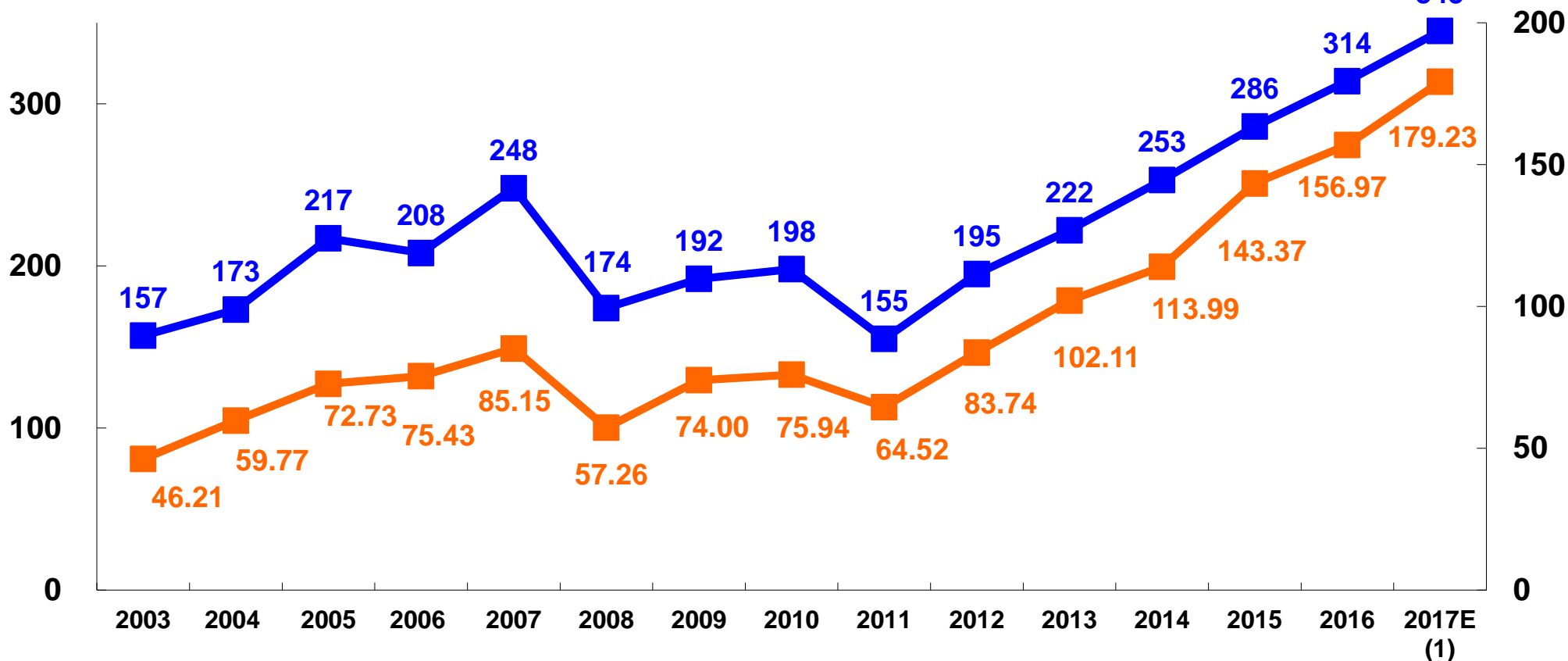
生体材料分野におけるシーズ獲得



# 長期業績推移

営業利益  
(億円)

EPS  
(円/株)



(1)2017年11月予想

# 長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017E (1)
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,920
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	345
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	361
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	270
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	454
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.0%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	15.9%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	179.23
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	66
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	36.8%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	50
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	143
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	109
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	174
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	9.0%

(1)2017年11月予想

# 2011-13 2Q 四半期別セグメント別売上高(旧セグメント)<sup>(1)</sup>

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	94	92	90	93	369	91	88	89	98	366	95	91
ファイン	30	29	24	26	109	29	27	24	32	112	29	31
基礎	64	63	66	67	260	62	61	65	66	254	66	60
機能性材料	87	83	86	84	340	95	93	95	91	374	103	103
農業化学	71	54	37	176	338	83	51	46	174	354	99	61
医薬	29	23	24	24	100	35	18	31	22	106	29	28
卸売	116	109	108	115	448	119	108	125	114	466	127	118
その他	46	47	43	64	200	39	63	46	64	212	46	51
調整額	-77	-76	-73	-83	-309	-78	-94	-86	-82	-340	-97	-90
<b>合計</b>	<b>366</b>	<b>332</b>	<b>315</b>	<b>473</b>	<b>1,486</b>	<b>384</b>	<b>327</b>	<b>346</b>	<b>481</b>	<b>1,538</b>	<b>402</b>	<b>362</b>

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2011-13 2Q 四半期別セグメント別営業利益(旧セグメント)

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	10	-2	6	2	16	8	0	4	7	19	8	0
機能性材料	17	9	11	11	48	21	20	16	15	72	21	23
農業化学	12	-4	-15	51	44	16	-3	-11	48	50	23	1
医薬	14	12	10	10	46	19	7	16	10	52	16	15
卸売	4	3	3	3	13	4	3	4	3	14	4	3
その他	0	0	-1	4	3	-1	2	1	5	7	1	1
調整額	-5	-4	-4	-2	-15	-4	-6	-5	-4	-19	-6	-4
<b>合計</b>	<b>52</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>79</b>	<b>155</b>	<b>63</b>	<b>23</b>	<b>25</b>	<b>84</b>	<b>195</b>	<b>67</b>	<b>39</b>

# 2013-17 2Q 四半期別セグメント別売上高(新セグメント)<sup>(1)</sup>

(億円)

	2013実績					2014実績					2015実績					2016実績					2017実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	93	86	88	88	355	85	82	91	85	343	87	80	90	86	343	85	80	91	92	348	88	79
<sub>  </sub> ファイ	27	26	23	23	99	27	26	28	25	106	30	25	25	26	106	28	25	27	27	107	28	25
<sub>  </sub> 基礎	66	60	65	65	256	58	56	63	60	237	57	55	65	60	237	57	55	64	65	241	60	54
機能	103	103	111	111	428	118	124	130	122	494	130	130	136	122	518	126	129	138	135	528	141	150
農化	99	61	55	176	391	123	62	57	215	457	136	75	50	214	475	145	95	42	238	520	146	115
医薬	31	33	30	22	116	25	25	21	17	88	21	16	35	15	87	22	15	24	19	80	21	14
卸売	127	118	128	134	507	141	132	141	130	544	147	128	149	132	556	144	132	137	139	552	146	145
他	46	51	49	68	214	38	47	46	78	209	41	48	47	73	209	40	46	58	96	240	54	43
調整	-97	-90	-89	-98	-374	-105	-98	-107	-113	-423	-110	-92	-110	-107	-419	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110
合計	402	362	372	501	1,637	425	374	379	534	1,712	452	385	397	535	1,769	451	394	376	582	1,803	474	436

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2013-17 2Q 四半期別セグメント別営業利益(新セグメント)

(億円)

	2013実績					2014実績					2015実績					2016実績					2017実	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	10	-2	6	5	19	10	-6	6	9	19	15	-1	12	13	39	15	-2	13	12	38	15	-2
機能	21	23	23	21	88	33	34	32	21	120	34	29	36	21	120	30	32	38	25	125	36	41
農化	23	1	-8	46	62	40	0	-5	57	92	44	18	-13	59	108	45	24	-20	83	132	45	36
医薬	14	17	14	4	49	8	8	4	3	23	4	2	16	-2	20	6	0	8	3	17	5	0
卸売	4	3	4	4	15	5	4	5	3	17	5	4	5	4	18	4	4	5	4	17	4	5
他	1	1	1	5	8	-1	0	1	6	6	0	0	0	5	5	0	0	2	8	10	1	1
調整	-6	-4	-5	-4	-19	-6	-4	-7	-7	-24	-8	-3	-7	-6	-24	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8
合計	67	39	35	81	222	89	36	36	92	253	94	49	49	94	286	95	52	40	127	314	100	73

# 2017上 セグメント別売上高 (1)

(億円)

	2016上実績			2017上予想 (2017/5発表)			2017上実績		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
化学	85	80	165	84	87	171	88	79	167
ファイン	28	25	53	26	27	53	28	25	53
基礎	57	55	112	58	60	118	60	54	114
機能性材料	126	129	255	138	141	279	141	150	291
農業化学	145	95	240	135	114	249	146	115	261
医薬	22	15	37	15	15	30	21	14	35
卸売	144	132	276	152	143	295	146	145	291
その他	40	46	86	47	45	92	54	43	97
調整額	-111	-103	-214	-119	-120	-239	-122	-110	-232
<b>合計</b>	<b>451</b>	<b>394</b>	<b>845</b>	<b>452</b>	<b>425</b>	<b>877</b>	<b>474</b>	<b>436</b>	<b>910</b>

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2017上 セグメント別営業利益

(億円)

	2016上実績			2017上予想 (2017/5発表)			2017上実績		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
化学	15	-2	13	14	1	15	15	-2	13
機能性材料	30	32	62	32	31	63	36	41	77
農業化学	45	24	69	38	38	76	45	36	81
医薬	6	0	6	1	0	1	5	0	5
卸売	4	4	8	4	5	9	4	5	9
その他	0	0	0	-1	0	-1	1	1	2
調整額	-5	-6	-11	-7	-6	-13	-6	-8	-14
<b>合計</b>	<b>95</b>	<b>52</b>	<b>147</b>	<b>81</b>	<b>69</b>	<b>150</b>	<b>100</b>	<b>73</b>	<b>173</b>



# セグメント別売上高、営業利益推移

(億円)

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017E(3)
売上高 (1)	化学	381 24.7%	369 24.8%	345 22.4%	355 21.7%	343 20.0%	343 19.4%	348 19.3%	351 18.3%
	機能	380 24.6%	340 22.9%	374 24.3%	428 26.1%	494 28.9%	518 29.3%	528 29.3%	585 30.5%
	農化	344 22.3%	338 22.7%	354 23.0%	391 23.9%	457 26.7%	475 26.9%	520 28.8%	582 30.3%
	医薬	96 6.2%	100 6.7%	127 8.3%	116 7.1%	88 5.1%	87 4.9%	80 4.4%	73 3.8%
	卸売	441 28.6%	448 30.1%	466 30.3%	507 31.0%	544 31.8%	556 31.4%	552 30.6%	603 31.4%
	他	270 17.5%	200 13.5%	212 13.8%	214 13.1%	209 12.2%	209 11.8%	240 13.3%	214 11.1%
	調整	-370 -24.0%	-309 -20.8%	-340 -22.1%	-374 -22.8%	-423 -24.7%	-419 -23.7%	-465 -25.8%	-488 -25.4%
	合計	1,542 100%	1,486 100%	1,538 100%	1,637 100%	1,712 100%	1,769 100%	1,803 100%	1,920 100%

営業利益 (2)	化学	24 12.1%	16 10.3%	19 9.7%	19 8.6%	19 7.5%	39 13.6%	38 12.1%	37 10.7%
	機能	79 39.9%	48 31.0%	72 36.9%	88 39.6%	120 47.4%	120 42.0%	125 39.8%	139 40.3%
	農化	48 24.2%	44 28.4%	50 25.6%	62 27.9%	92 36.4%	108 37.8%	132 42.0%	156 45.2%
	医薬	44 22.2%	46 29.7%	52 26.7%	49 22.1%	23 9.1%	20 7.0%	17 5.4%	10 2.9%
	卸売	14 7.1%	13 8.4%	14 7.2%	15 6.8%	17 6.7%	18 6.3%	17 5.4%	20 5.8%
	他	10 5.1%	3 1.9%	7 3.6%	8 3.6%	6 2.4%	5 1.7%	10 3.2%	7 2.0%
	調整	-21 -10.6%	-15 -9.7%	-19 -9.7%	-19 -8.6%	-24 -9.5%	-24 -8.4%	-25 -8.0%	-24 -7.0%
	合計	198 100%	155 100%	195 100%	222 100%	253 100%	286 100%	314 100%	345 100%

		2016
セグメント 資産 (4)	化学	261 11.3%
	機能	480 20.7%
	農化	556 24.0%
	医薬	102 4.4%
	卸売	198 8.5%
	他	107 4.6%
	調整	613 26.5%
合計	2,317 100%	

営業利益率	化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	10.5%
	機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	23.8%
	農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	26.8%
	医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	13.7%
	卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.3%
	他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	3.3%
	調整								
	合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.0%

(5) = (2)/(4) ROA	化学	14.6%
	機能	26.0%
	農化	23.7%
	医薬	16.7%
	卸売	8.6%
	他	9.3%
	調整	13.6%

(1)2010-2011：旧セグメント, 2012-：新セグメント

(2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(3)2017年11月予想

# セグメント変更・・・2013年10月の組織変更に伴い、下記の通り変更

## 旧セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品（ハイライト、シアヌール酸等） ファインテック
	基礎化学品	メラミン 尿素、アトフルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエパー ARC®(KrF、ArF、多層材料) OptiStack®(多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	



## 新セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品（ハイライト、シアヌール酸等）
	基礎化学品	メラミン 尿素、アトフルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエパー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ ファインテック	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	

# 主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラシニアスレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アトフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌール酸： フール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトフルー（ディーセル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエバー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド材料 スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： シリコンウェハー・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理 有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルカ パーミット シリウス ラウンドアップ® アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト</p> <p>◆殺菌剤 ハルサー、イカルガ、グレータム (チフルサミト) ライメイ</p> <p>◆動物薬 フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	<p>リハロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品研究開発参加型事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

# 商号の変更

1. 新商号(英文) 日産化学株式会社(Nissan Chemical Corporation)  
現商号(英文) 日産化学工業株式会社(Nissan Chemical Industries, Ltd.)

2. 変更予定日 2018年7月1日

## 3. 商号変更の理由

当社は、1887年に日本初の化学肥料製造会社である「東京人造肥料会社」として創業いたしました。その後、幾多の吸収合併を繰り返すなかで「大日本人造肥料株式会社」に商号を変更し、1937年に現在の社名である「日産化学工業株式会社」に改称いたしました。

創業以来、当社は社会の進歩を促す革新的な技術を追求することで、新たな事業への挑戦を続けてまいりました。現在では、情報通信、ライフサイエンス、環境エネルギー、基盤の4つの事業領域で、グローバルに商品・サービスを提供しております。

また、2016年4月、当社グループが持続的に成長するための重要課題は事業領域の拡大であると認識し、2030年を見据えた長期経営計画『Progress2030』を始動させました。

このように、すでに当社は工業の枠を超えて事業を展開し、さらに将来に向かってその流れを加速していくことから、社名を事業内容と合致させるため、商号を「日産化学工業株式会社」から「日産化学株式会社」に変更いたします。

# 免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。